

Part 1 基本情報

1. ブルキナファソプロフィール

(1) 正式名称	(和文)ブルキナファソ (英文)Burkina Faso
(2) 政体	共和制
(3) 首都	ワガドゥグ
(4) 面積	27万4200平方km
(5) 人口	1580万人(2009年, UNFPA)
(6) 民族	モシ族、グルンジ族、セヌフォ族など
(7) 言語	公用語 : フランス語 その他各部族語
(8) 宗教	伝統宗教(57%)、イスラム教(31%)、キリスト教(12%)
(9) 略史	11～13世紀モシ族の王国が栄える。1897年フランスの保護領となる。1960年「オート・ヴォルタ」として独立。1980年国名を「ブルキナファソ」に変更。
(10) 在留日本人	178人(2010年10月現在)
(11) 気候	熱帯に属する。モシ高原以北の地域はサハラ性気候で雨量は非常に少ないが、モシ高原以南はスーダン性気候で雨量が多い。首都ワガドゥグの年間平均気温は摂氏28度である。

【参考】
「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要(ブルキナファソ事務所)

住所 : Cité SOCOGIB (HLM), Petit Paris (Secteur 8) ,
Derrière le Service du Contrôle de la migration, Ouagadougou,
Burkina Faso

郵便物宛先 : 01 BP 1484, Ouagadougou, BURKINA FASO

連絡先 : 国番号 : 226

市外局番 : なし

電話 : +226-50-34-65-21～23

FAX : +226-50-34-65-20

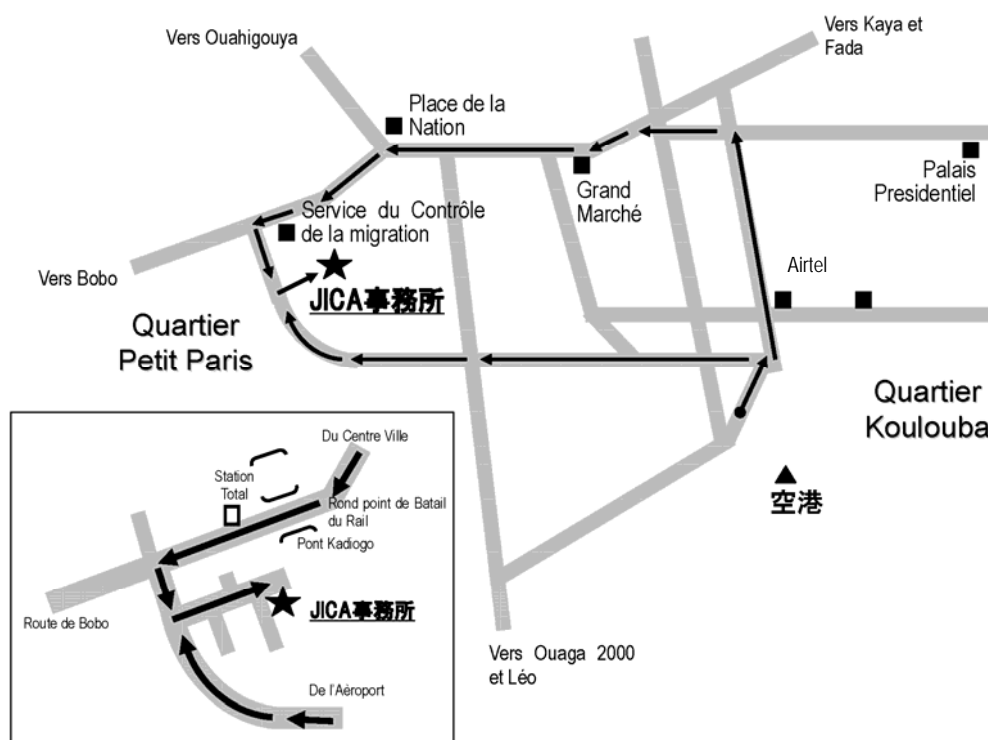
URL : <http://www.jica.go.jp/burkinafaso/index.html>

E-mail : bf_oso_rep@jica.go.jp

執務時間 : 8:00～17:30(昼休み12:00～14:30)

休日 : 「(3)官公庁の休日」に準じる。

(2) JICA事務所周辺地図



事務所までの交通：

事務所はわかりにくい場所にあるため、なるべく迎えを頼んでおくことを勧める。タクシーを利用する場合、「Petit paris(プティ・パリ)」地区または「Gounghin(ゲンゲン)」地区、「Direction de Passport(地図上のService du Contrôle de la migrationの通称)」と伝える。「JICA BURKINA FASO」のブルーの看板が目印となる。

【空港から】

緑色のタクシーが客待ちをしている。事務所までの所要時間は約5～15分、料金は交渉によるが1500～2000CFAフラン程度である。夜間や早朝、荷物が多い場合には割高になることがある。

【空港以外から】

タクシーの利用を勧める。

(3) 日本との時差、
サマータイム

日本との時差：-9時間
サマータイム：実施していない。

(4) 祝日、官公庁
の休日

祝日：
1月 2日 Day after the New Year Holiday
1月 3日 In remembrance of the Popular rising of 3 Jan.1966
2月 6日 ※Muslims celebrate MOULLOUD

3月 8日	International women's day
4月 9日	Easter Monday
5月 1日	The Labour Day
5月17日	※The Ascension Day
7月20日	※Ramadan
8月 6日	Day after the Independence Day
8月15日	The Assumption Day
9月28日	※Muslims celebrate TABASKI Tabasuki
11月 1日	All Saints' Day
12月11日	Proclamation of the Republic
12月25日	Christmas
(2012年)	

官公庁の休日 : 上記祝日と土曜日、日曜日。

※印は年毎に変動

- (5) ビジネスアワー
- 官庁 7:00~12:30 15:00~17:00(土曜午後、日曜休み)
 銀行 7:30~11:30 15:30~16:30(土曜8:30~12:00、日曜休み)
 ただし、祝日の前日、イベント期間中は7:30~14:00
 商店 8:00~13:00 15:30~21:00(日曜8:00~13:00)
- (6) 言語
- 業務 : フランス語が通用する。市場や地方の村では各地方の現地語が話され、フランス語が通用しない場合もある。現地語はモレ語、ジュラ語が全国的に通用する。
 ホテル、買い物、食事 : フランス語が通用する。市場や地方の村ではさまざまな現地語が使われる。
- (7) 通貨
- 通貨 : セーファー・フラン(FCFA。※本稿ではCFAフランと記述する)
- (8) 通貨レート
- 為替レート : 1ユーロ=655.957CFAフラン固定レート
- (9) 関係機関
- 【在外日本関係機関】
- 在ブルキナファソ日本大使館(2009年開館)
- 住所: Ambassade du Japon 01 BP5560, Ouagadougou 01, Burkina Faso
 電話: +226-5037-6506
 FAX: +226-5037-6581
- 【ブルキナファソの関係官公庁】
- 外務地域協力省
- 住所 : Boulevard du Faso

- (10) 有用サイト
- <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)
 - <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)
 - <http://www.mae.gov.bf> (ブルキナファソ外務省)
 - <http://www.presidence.bf> (大統領府)
 - <http://www.cdp-burkina.org> (与党民主進歩党)
 - <http://www.cenatrin.bf> (インターネットプロバイダーセナトリン)
 - <http://www.fasonet.bf> (インターネットプロバイダーファソネット)
 - <http://www.netaccess.bf> (インターネットプロバイダーネタセス)
 - <http://www.lobservateur.bf> (民間日刊紙ロブセルバトゥール)
 - <http://www.lepays.bf> (民間日刊紙ルペイ)
 - <http://www.izf.net/izf/index.htm> (フランス語圏検索)

Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のあるワガドゥグの情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

ワガドゥグには4つ星ホテルが1軒、3つ星ホテルが10軒程度あり、このクラスだとシングル1泊3万～8万FCFA(セーファー・フラン。以下CFAフランと記す)程度である。ホテル内は比較的安全だが、置き引きなどの犯罪被害リスクはあるため、手荷物・貴重品などは適切に管理する必要がある。

クレジットカードは多くのホテルで対応可能としているが、VISA、MasterCard、American Express、Diners Clubなど、ホテルによって対応可能なカードはまちまちであるため、使用できるカードを事前に確認しておくことが望ましい。また、ワガドゥグ以外の地方都市ではクレジットカードはほとんど使えない。

ワガドゥグの主なホテルは以下のとおりである(詳細はイエローページを参照)。電話、FAXで直接予約できるが、宿泊直前に確認したほうがよい。ホテルによっては小型バスにて空港まで送迎してくれるので予約時に依頼するとよい。

<中心部のホテル>

- ・ Hôtel Silmandé
- ・ Hôtel Azalai Indépendance
- ・ Faso Hôtel
- ・ Hôtel Koulouba
- ・ Karite Bleu
- ・ Residence du Centre



Sofitel Silmande

<Ouaga 2000エリア>

- ・ Joly Hôtel
- ・ Hôtel Laico
- ・ Maison d'Hôtes
- ・ Palace Hôtel



1-2 住宅事情

戸建住居が多く、アパート・マンションは少ない。家具付き物件も限られている。一般に優良物件、新築物件は少なく、外国人向け住宅はすぐに借り手がつく状態である。7～8月が欧米人の移動時期で一番物件が多い。

家賃は物件しだいだが、外国人向け住宅の場合、40万～80万CFAフラン程度が相場である。

外国人居住エリアも含め空き巣被害は時折発生しているため、特に戸建住居に居住する場合は警備員を雇うことを推奨している。また敷地を囲む塀の高さを

十分確保する、塀の上に鉄柵などを設けることなども犯罪抑止に有効であり、このような観点から住居防犯が十分であるか点検が必要である。

官庁街では水道、電気、電話などのインフラが整備され、断水、停電などは非常に少ないが、住宅街によっては停電、断水の多い地域もある。外国人居住地区は停電、断水は比較的少ないが、下町、新興住宅街、公務員住宅のある地域では頻発しているため、特に断水対策として大バケツなどを準備し、貯水するなどの対策も必要である。



1-3 住宅の探し方

条件の良い外国人向け住宅探しは容易ではない。大手の不動産会社もいくつかあるが、多数存在する不動産仲介を生業とする個人(Démarcheurと呼ばれる)を利用するほうがより一般的。Démarcheurの利用にあたっては、トラブルを避けるためにも事前に条件(契約成立時の仲介手数料/礼金、訪問料の有無等)を確認しておくほうがよい。現地日本人の住居探しに実績のあるDémarcheurを活用する方法もある。ホテルやスーパーマーケットなどの掲示板も情報源になり、希望条件を書いて貼り紙を出してもよい。希望する住区が決まっていれば、その地区のガードマンなどから近所の空き家の状況を聞き出す方法もある。

主な不動産会社は以下のとおり。



- ・Transactions Immobilières Faso
- ・Kabore Jean Baptiste

1-4 住宅選定上の留意点

軍による騒乱発生リスク、20年以上の長期政権に対する大衆運動・クーデターなどの発生リスク、一般犯罪リスクなども念頭に、以下の点に留意して居住エリアは選定する必要がある。

- (1) 軍キャンプの至近距離に位置していない。(最低限500m程度の距離を確保することが望ましい。)
- (2) 大統領府、首相府、テレビ局(RTB)など、戦略施設に隣接していない。
- (3) 住居敷地は大きな雨水、排水溝に隣接していない。(雨水・排水溝は空き巣犯罪者の逃げ道として利用されることも多い)
- (4) 大衆運動の会場となる施設やデモコースに隣接していない。
- (5) 外国人居住者も全くおらず、アクセスも困難な僻地に位置していない。
- (6) 隣家が空き家となっていない。

※家屋は老朽度、電気・水回り、給排水設備の状態、雨漏りの有無、窓の防犯鉄柵の状態、網戸の状態、塀の高さなどのチェックが必要。

1-5 住宅の契約

不動産業者を介して契約することが多く、契約書は多くの場合不動産業者が準備することが多いが、業者が準備した契約書であっても契約内容については十分に確認し、必要に応じて修正を求める必要がある。また財務省の出先機関であるHôtel de Finance、またはDirection des Impôts(所在地 :Boulevard de la Revolution、電話 :50-30-89-85)で200 CFAフラン(4通1組)で契約書フォームを購入することも可能。Hôtel de Financeは各地区にある(たとえば、ワガドゥグ市内のカディオゴ1地区の電話番号は50-30-68-68)。

ブルキナファソでは住所が整備されている地区とされていない地区がある。通常、電話をかけて場所の説明を受ける。

契約に際しての留意点は以下の通り。

- (1) 契約期間は1年間とし、家主、賃貸者ともに契約を途中解約ができる権利を明記しておくことが大切である。
- (2) 契約を結ぶ場合、1～3カ月分の保証金、3カ月の前家賃の支払いを要求されるのが通常なので、当初は少なくとも6カ月分の家賃の資金を準備しておく必要がある。また支払いは家主に直接、現金または小切手で行うのが一般的である。
- (3) 物件、家具ともに、入居前に現状についてのチェック、家主との合意は不可欠である。Etat de Lieu(物件確認書)を作成しておくこと。
- (4) 契約を終了もしくは解約する場合、物件の原状回復工事を行わなければならないが、工事終了まで時間がかかる場合、保証金からその工事費を充て離任することも可能である。その場合、工事費の見積もりをもとに保証金から返金される額を家主と交渉しなければ、保証金の返金がないこともあるので注意が必要である。保証金であっても、返金することに反対する家主も多く、解約時に家主との間でトラブルが発生する可能性は非常に高い。繰り返しとなるが、写真を挿入したEtat de Lieu(物件確認書)を契約時に作成しておくことで、同トラブルは回避可能である。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

電気はSONABEL(ソナベル)、水道はONEA(オネア)、電話はONATEL(オナテル)に、それぞれ住区の営業所で申し込む。保証金が一定額必要なので現金を準備しておくといふ。ガスに関しては、都市ガスはなく、ボンベでブタンガスを購入する。

支払いは毎月、SONABEL、ONEA、ONATELの各窓口で行う。請求書は手渡しまたは郵送であるが、支払いが遅れると滞納金が課せられ、電話の場合は発信できなくなるので、請求書がなくても長期休暇前には窓口で前月分の支払いをしたほうがよい。

ゴミ収集はGounghin(グンゲン)地区にワガドゥグ市の受付があり、そこで申し

込む。市のゴミ収集は、毎月3000CFAフランで、週1回(土曜午前)、トラックで回収に来る。ゴミは家の前の道路に出す。廃品業者、子供、犬などがゴミを漁って散らかすので注意が必要である。ロバ等でゴミを収集する業者(個人)もいる。収集代は月に2000~4000CFAフラン(週1回)である。現地在住の関係者の多くは個人業者に頼んでいる。

・SONABEL本局

所在地 : Avenue Nelson Mandela (ネルソン・マンデラ)、Place de la Révolution (プラス・デウ・ラ・レボリューション) 近く

電話 : 50-30-61-00

・ONEA本局

所在地 : Avenue du Temple Secteur 3

電話 : 50-30-64-27

・ONATEL本局

所在地 : Avenue Nelson Mandela、郵便局本局の先

電話 : 50-33-40-01

1-7 家電

(1) 電圧

ブルキナファソの電圧は220V、周波数は50Hzである。日本から持参した製品を使用する場合、変圧器が必要である。220Vから115Vへの変圧器は現地で購入可能であるが、日本の100V規格製品への流用は勧められない。



(2) コンセント、モジュージャックの形

ホテルや家によって日本製品をそのまま使用できる場合があるが、フランス式変換アダプターを用意したほうがよい。現地でアダプターを購入することも可能である。差し込みプラグはフランスと共通の丸型2本ピン(Cタイプ)である。

(3) 家電製品

現地で調達できるものは、エアコン、扇風機、冷蔵庫、冷凍庫、コーヒーメーカー、電気湯沸かし器(保温のできるタイプはない)、ジューサーミキサー、アイロン、ドライヤー、洗濯機、テレビ、ビデオデッキ、DVDプレーヤー、ラジカセ、ファクシミリ機などで、ほとんど現地にあるもので生活には困らない。炊飯器は入荷状況しだいであり、常時手に入るわけではないので、日本から持参したほうが望ましい。ホットプレート、加湿器、ホットカーラーなどは手に入らないので、必要なら持参したほうがよい。

1-8 家具保険

住居の賃貸契約条項として、物件、家具などに対する保険加入を借り手に義

務付けている場合が多い。保険に加入しない借り手が多いが、火災、盗難、災害などが起こった場合、莫大な損害補償を要求される可能性があるため、保険に加入したほうがよい。盗難、落雷による家具（電化製品）の破損の場合、まず保険会社に通報し、求償手続きをとること。保険会社に連絡せず修理すると、求償は不可能である。

1-9 その他

季節、居住区にもよるが、数秒程度の停電はほぼ毎日発生する。クーラーを多用する季節（4～6月）にはしばしば数時間の停電が起こる。1日8時間の計画停電も行われることもある。雷雨が近づいたときにコンセントや電話線を抜くなどして自衛することも可能である。

住居環境の衛生上、4カ月に1回程度の害虫（ゴキブリ、蚊、ネズミなど）駆除が必要となる。SAPHYTO (Société Africaine de Produits Phytosanitaires et d'Insecticides、電話：50-30-55-04)などの会社がある。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

気候は6～9月の雨季と10～5月の乾季に大別される。一年を通じて暑く、乾季の湿度は低い。1月は気温が最も下がり、暑さのピークは4月で、日中40度を超える日もある。（首都ワガドゥグの4月の平均気温は摂氏32度、1月の最低気温の平均は16度(早朝)、年間平均気温は28度）。雨季は比較的涼しい。12月～2月にはサハラ砂漠から乾燥した風（ハルマタン）が吹く。

日常は半袖が過ごしやすく、長袖が欲しくなるのは1月の早朝くらいである。ただし、冷房が効きすぎる場所もあるので、カーディガンなどを用意したほうがよい。雨季は夕刻より、マラリア予防対策として外出時は長袖長ズボンを着用し、肌の露出は避けたほうがよい。男性は、屋内勤務では要人と面会するときはスーツ着用、それ以外は半袖・ノーネクタイが一般的である。現地で販売されている既成の衣料は一般に品質が悪く高価である。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

必要な衣料、タオル、寝具、靴は日本から持参したほうがよい。特に、日本人の足に合う靴はブルキナファソでもヨーロッパでも見つけにくい。生理用品、紙おむつは輸入品があるが、高価で質はいまいちである。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

現地服のブーブーや派手な柄の服・生地は入手しやすい。

(4) その他の留意点

秋から春の間にヨーロッパ旅行する場合は、冬物衣料も必要になる。

2-2 礼装

(1) パーティー

男性はスーツ、女性はドレスが一般的である。

(2) 式典

男性はスーツ、女性はドレス。日中の屋外は暑いので、メインゲストでなければノーネクタイも可能である。

(3) 冠婚葬祭

男性はスーツ、女性はドレス。色についての制限は特にない。

(4) その他の留意点

和服は特に必要ない。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店 (pressing : プレスイング) は Avenue Houari Boumediene (ウアリ・ブメディエヌ) など市街地に複数あり、ドライクリーニングも可能である。ホテルでも頼めるが、割高である。家庭での洗濯は、洗剤と水質や強い日ざしによる日焼けのせいで、布地の傷みと脱色が日本より激しい。白物衣類などは、土埃により汚れやすくなる。

アイロン、洗濯機は現地で購入できる (家政婦 / 夫にすべて手洗いしてもらうことも可能)。家庭で洗濯をし、外注でアイロンをかけてもらうこともできる (1着 50CFA フラン)。雨季以外は乾燥が早く、乾燥機は特に必要ない。洗濯ネットがあると、衣類の傷みが少なく便利である。

(2) 仕立て、修繕

布地は中央市場とその東向かい Rue Urbain Yameogo (ユルベン・ヤメオゴ) 沿いの店に輸入品が豊富にある。

路上の仕立屋から店を構えている仕立て店まで多数あり、料金も安価 (布地によって異なるが半袖シャツ 2000CFA フラン、上下アンサンブル 3000CFA フラン) で、1週間くらいでできる。INES Couture (イネス・クチュール、コートジボワール大使館近く。電話 : 50-31-03-19)、ISSAKA (イサカ、ゾーン・ド・ボア地区。電話 : 75-72-28-54) などで修繕、ドレスの仕立てもできる。店によっては紳士服の仕立ても可能である。クリスマス、宗教行事などの前は現地人も服の仕立てを行うことから、時間の余裕をもち発注を行うとよい。

普段着は、見本を持参するなどすれば近所の仕立て店で十分作れる。修繕も仕立て店でできる。

(3) 保管

スーツなどは虫がつくので防虫剤は必要である。スーパーなどで購入できる。除湿剤は販売されていないが、気候が乾燥しているので特に必要ない。皮製品はクリームを塗るなどの手入れが日本よりも必要になる。

以下は、生地の販売店である(詳細はイエローページを参照)。

- Yellow Page**
- ・EUROTEX BURKINA
 - ・AFRICATEX

2-4 美容院、理髪店、エステ

外国人が利用しているのは、高級ホテルにある美容院、理髪店である。街中にもあるが、外国人の髪質に慣れていないので、好みのスタイルにカットやセットしてもらうのは期待できない。現地の髪型やトレース、丸刈りなら街中の店でも対応可能である。

化粧品、洗髪料は輸入品がありマルシェでは比較的安価に購入できる。ただし、基礎化粧品や日焼け止めクリームなど個人の肌質にあったものを見つけることは困難なので日本から持参したほうがよい。

街の喧騒に疲れたら、高級ホテルの敷地内にエステのできるサロンがあるので、フェイシャルマッサージ、全身マッサージでリラックスするのもよいだろう。

以下は、ユニセックスの美容院である(詳細はイエローページを参照)。

- Yellow Page**
- ・Coiffe Style(コワフ・スタイル)
 - ・Gaël Emmanuel
 - ・Hair et Beauty Coiffure
 - ・Hudson and Boissard
 - ・Institut de Beauté FAB
 - ・Coiffure Design
 - ・Sitness

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

チップは必ずしも義務ではないが、気持ちのよいサービスを受けた場合、感謝の気持ちとして通常チップを渡す。

(2) 各種サービスに対するチップ

代金の何%というような決まりはないが、飲食店の給仕(100~500CFAフラン)、ホテルや高級スーパーでの荷物の運搬(50~500CFAフラン)、路上駐車時の車の監視(100CFAフラン)、買い物や案内などの15分程度で済む用件を頼んだ場合(100~500CFAフラン)を渡す習慣がある。金額についてはあくまで目安であり、依頼した仕事の難易度や状況によって異なる。

両者の社会的立場(階級)の差などから、チップを渡すことがむしろ失礼になることもあるので注意が必要である。たとえば、ある程度の地位にある人や相手が、友だちまたは家族としての親愛の情をもってサービスをする場合、チップを渡すのは非常に失礼にあたる。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

ワガドゥグにはヨーロッパ人の経営するレストランが数10軒程度、現地レストランで人を招待できるレベルのものが数軒ある。料理の種類はフランス、イタリア、中国、レバノン、インド、アフリカ料理などで、飲み物別でフルコース最高1万5000CFAフラン程度である。ホテルのレストランも悪くはないが、割高である。

(2) 飲食店

主なレストランは以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。



<アジア料理>

- ・Restaurant de Chine (中華)
- ・Kim Son(ベトナム・2011年10月現在閉店中)
- ・L'Orient (中華)
- ・Soura (韓国)
- ・Dragon Hotel (中華)

<フランス料理>

- ・Le Vert Galant
- ・Le Coq Bleu
- ・L'Olivier Nouveau
- ・Le Bistrot Lyonnais
- ・Princesse Yenenga

<イタリア料理>

- ・Le Verdoyant
- ・Paradisio
- ・Pizzeria Terra Nostra

<アフリカ料理>

- ・L'Akwaba
- ・Espace Gondwana
- ・Aboussouan
- ・La Foret
- ・ONU
- ・L'Eau Vive

<その他>

- ・Le Tamtam(ドイツ風料理)
- ・Diwan Al Mokhtar (レバノン料理)
- ・Rang de l'Inde (インド料理)

<喫茶店・軽食>

- ・Patisserie de Koulouba
- ・Chez Simon

- ・Café de Vienne

- ・Le Cappucino

<ワインバー・バー>

- ・Paradis de Meilleurs Vins

- ・La Cave du Petit Paris

- ・Le Moulin Rouge

- ・Le Show Biz

4-2 食料

(1) 一般事情

ブルキナファソ産の肉、野菜、果物などは安価である。スーパーマーケットにはヨーロッパ産の野菜、果物、肉、コートジボワール産やセネガル産などの魚介類がある。アジア系食品の専門店はないが、中国食品は少し出回っている。停電が多いので、スーパーマーケットの冷蔵・冷凍食品の品質には注意が必要である。魚介類の生食は絶対避ける。

(2) 主な食品の出回り状況

<米>

タイ米、コートジボワール米、ブルキナファソ米などがあるが、インディカ種が多い。

<パン>

フランスパンは街角の雑貨屋(boutique :ブティック)、パン屋で販売する。クロワッサンなどのフランスタイプのパンは、菓子／喫茶店(pâtisserie/salon de thé :パティスリー／サロン・ドゥ・テ)や大手スーパーで購入できる。

<肉類>

現地産の牛肉、豚肉、羊肉、鶏肉の品質はよい。その他、鴨肉、ウサギ肉、レバーなどもスーパー、専門店で入手可能。庶民向けの肉市場は安価だが、衛生面から勧められない。買うなら早朝に限る(さばいたあとの生肉を保冷せず、台などの上に並べてそのまま販売しているので、時間がたつにつれ、ハエ、ほこりなどがつく)。肉類全般にいえることだがよく加熱してから食すこと。さっと炒める程度では問題がある。

<野菜>

主な国内産野菜は、トマト、キュウリ、タマネギ、長ネギ、オクラ、アボカド、インゲン、ナス、キャベツ、ホウレンソウ(現地タイプ)、サラダ菜、ニンニク、ニンジン、カリフラワー、ジャガイモ、サツマイモ、ショウガ、コリアンダーなど。冬季には大根、白菜もスーパーなどに出回る。ヨーロッパからトマト、カリフラワー、ブロッコリー、アンディーブなどが季節に応じて直輸入される。

<乳製品>

ヨーロッパ製品各種、ブルキナファソ製の牛乳、ヨーグルト、チーズ、コートジボ

ワール製バターなどが出回っている。

<果物>

主な現地産果物は、バナナ、マンゴー(4~6月ごろ)、パパイヤ、メロン、パイナップル、現地オレンジ、ライム、グレープフルーツ、スイカ(マリ産もある)、イチゴ(12~3月ごろ)。主な輸入果物は、リンゴ(一年中)、ミカン、オレンジ、サクランボ、ブドウ、桃など(スーパーマーケットで買える)。

<魚介類>

輸入冷凍魚介類はスーパーで、国内産の魚と燻製や乾物は魚屋で購入できる。注文を受けコートジボワールやセネガルで購入、冷蔵して配達する魚屋もある。

<その他>

以下のものは、スーパーなどで購入できる。

- ・菓子類(クッキー、ポテトチップス、チョコレート、キャンデーなど)
- ・缶詰類(インゲン、グリーンピース、ホウレンソウ、タケノコ、モヤシ、トウモロコシ、およびツナ、アンチョビーなどの魚類の缶詰)、冷凍食品(ピザ、魚のフライ、フライドポテト)
- ・めん類(スパゲッティ、マカロニ、ラーメン); ラーメンは中国製で味はまずまず。
- ・小麦粉(調理用、菓子用、パン用)
- ・調味料(サラダ油、砂糖、塩、酢、各種スパイス、マヨネーズ、ケチャップ、片栗粉)
- ・飲料(ミネラルウォーター、ジュース、コーラなど)
- ・アルコール類(ビール、ワイン、ウイスキー、ジンなど); 焼酎、日本酒は絶対手に入らない。
- ・中国食品(しょうゆ、オイスターソース、ラーメン、春雨、キクラゲ、ライスペーパーなど)

(3) 食料の入手

こまめにマーケットに行けば、たまに日本食品が入手できる。これまでに入手できたものとして、カニカマボコ(常にある)、「ミカド」(グリコの「ポッキー」)、ラーメン(第三国生産の「出前一丁」)、「味の素」(第三国生産で常にある)、醤油(第三国生産のキッコーマン)、ミツカン酢、ワサビ、日本米、海苔、紅生姜などがある。輸入食品はスーパーマーケットで購入できる。国内産の野菜、果物は、庶民向けの市場marché(マルシェ)で購入したほうが安価で新鮮である。マルシェは各住区に必ずあり、大手スーパーの店先にも売り子のおばさんがいる。

主な食品の入手先は以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。



<スーパーマーケットなど>

- ・Marina Market(マリナ・マーケット)



Marina Market

- ・Scimas/Self Service(シマ/セルフ・セルビス)
- ・Cobodim(コボディン)
- ・CACI(カスイ)
- ・SONACOF(ソナコフ)
- ・Mini Alimentation(ミニ・アリマンタスイオン)
- ・BINGO MARKET(ビンゴマーケット)
- ・SUPER RAMON(スーパーラモン)

<その他の食品店>

- ・Sipal(スイパル)
- ・Marée Fraiche(冷凍魚介類)(マレフレッシュ)

<マルシェ(市場)>

- ・Marché Gunghin(マルシェ・グンゲン)
- ・Marché Sankariare(マルシェ・サンカリアル)
- ・Rue de Palestine(パレスティヌ)の市場
- ・Paspanga(パスパンガ)地区、Avenue de la Liberté(リベルテ)沿道の市場

<宅配>

- ・Poissonnerie : BESSIN(ポワツヌリー<魚屋>・ベサン)

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

食器類、輸入調理器具、ガス台はスーパーマーケットなどで購入できる。ガスは、最初にガソリンスタンドで、空のガスボンベ(2万~2万5000CFAフラン)を購入し、ガスの入っているガスボンベと交換(つまり、ガスの中身を購入することになる)、ガス代として4000CFAフラン支払う。

ブルキナファソで調達できるものは、冷蔵・冷凍庫、ミキサー、コーヒーメーカー、浄水器、圧力鍋、鍋、フライパン、洋食器一式、まな板、アルミホイル、ラップ、ビニール袋などである。

主な販売店は以下のとおり。



- ・CACI
- ・CICA/Electro Hall
- ・SBE(Société Burkinabé d'Equipement :ソスイエテ・ブルキナベ・デキップモン)
- ・ORCA
- ・HOME MARKET

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

茶碗、お碗、はしなどの和食器、包丁、炊飯器は日本から持参したほうがよい(韓国向け220Vの炊飯器は成田空港などで入手できる)。

5. 生活用品の購入 5-1 家電製品



Yellow Page

家電製品は以下の店で購入できる(詳細はイエローページを参照)。

・Merveille

5-2 家具

長期滞在者の多くは家具職人から家具を購入している。国産品を店頭で販売しているケースはほとんどなく、多くは路上に並べて販売している個人の家具職人である。出来合いものを購入するか、自分の希望するタイプの家具を注文することになる。値段は交渉次第だが、注文でも出来合いでもあまり値段は変わらない。

注文の場合、職人がこれまでに製作した家具の写真アルバムを参考に、使用する木材(大きく分けて白い木材と赤い木材があり、赤いほうが高価)によって価格が異なってくる。製作日数は約1週間程度、市内の運搬費用は1500CFAフラン程度で、トラックか荷車(人力)を依頼できる。

<注文家具の例>

- ・ソファーセット :5万CFAフラン～
- ・机(D60cm×W120) :1万5000CFAフラン～
- ・食器棚(2ガラス開き戸、2引き出し、2開き戸、T185cm×W120×D40) :8万CFAフラン～
- ・引き出し付き下駄箱(T100cm×D40×W120) :4万5000CFAフラン～

輸入家具に関しては、カラーボックスなどに使う圧縮合板の家具(テレビ台など :50万CFAフラン～)は電化製品店(Merveilleなど)で購入が可能である。

高級家具を扱う店(ORCA)もある。また、カタログで注文・輸入することもできる。家具職人のなかには中古家具を扱う者もいる。

店舗を構えた家具店は次のとおり。

Yellow Page

- ・FTF(Interni Show-Room)
- ・ORCA

5-3 日用品、雑貨

トイレットペーパー、ティッシュペーパー、掃除用具、バスルーム小物など、種類はあまりないが、スーパーマーケット、市場で手に入る。ティッシュペーパーは路上でも多くの子供たちが販売している。文房具についてはノートやボールペンは本屋、文房具店で購入できる。基本的なものはあるが、種類の選択は限られる。

主な店は以下のとおり。

Yellow Page

- ・ORCA
- ・Diacfa papeterie
- ・Comptoir Burkinabe des Papieres

- ・SPA
- ・Livre et Loisir
- ・MARINA MARKET

5-4 工具、素材

日曜大工などに必要となる基本的な工具は購入できる。質のよいものや専門的な工具の購入は困難である。

主な店は以下のとおり。



- ・ORCA
- ・CACI
- ・C.B.B

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

銀行の営業時間は通常、月～金曜日の午前・午後であるが、祝日の前日やイベント期間中はjournée continue(ジュルネ・コンティニュー)といって、営業時間が朝から昼休みなしに14:00ごろまでとなるので注意が必要である。BIBは東京三菱UFJ銀行から送金できる。

主な銀行は以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。



- ・BIB (Banque Internationale du Burkina / ベー・イー・ベー)
- ・BICIA-B (Banque Internationale pour le Commerce, l'Industrie et l'Agriculture du Burkina / ビスィア・ベー)
- ・Ecobank (エコバンク)
- ・Bank of Africa (バンク・オブ・アフリカ)

(2) 口座の開設と閉鎖

口座開設にはパスポート、写真(1口座につき2枚)が必要で、住所、連絡先を登録する。短期滞在者でもホテルを住所にすれば口座の開設が可能である。銀行口座に対して3か月ごとに5000～6000CFAフランの税金がかかり、口座閉鎖の際にも5000CFAフラン程度の手数料が必要となる。毎月の出入金明細書(Relevé de compte)と入金通知は送付され、残高などをすぐに知りたい場合は専用窓口で確認できる。小切手は申請から3週間程度で発行される(窓口まで取りに行く)。BIBなど現金が引き出せるキャッシュカードの発行が可能な銀行もあるが、カード発行には2ヶ月ほど必要である。

(3) 小切手

電気、水道、電話の支払いは現金の場合手数料を取られるが、小切手で支払うと請求書の金額のみで、手数料は取られない。大きな店や企業での買い物は小切手による支払いが可能であるが、家具職人や個人の零細企業の場合、現

金しか受け付けないこともある。

小切手は、銀行口座を開設する際、小切手口座にすると、開設後1～2カ月後に小切手帳を受け取ることができる。小切手帳は50枚から作成できる。

(4) 換金方法

現地通貨は西アフリカ共通のFCFA(セーファー・フラン。本稿ではCFAフランと記述)で、1ユーロ=655.957CFAフランの固定レートではあるが、ユーロからCFAフラン、またその逆の交換は、銀行でおよそ2%の手数料が必要である。少々レートは悪くなるが、主要ホテルでもユーロからCFAフランに換金可能である。逆にCFAフランから外貨に換金する場合は、航空券等でCFA圏以外に渡航することが証明できれば可能である。

大手の商業施設(マリナ・マーケット、ホテル、CFAレンタカーなど)では、ユーロがそのまま使える。

トラベラーチェック(T/C)もユーロ建てにしたほうが便利で、主要銀行の支店でも交換できる。ただし、交換には、上記(1)の銀行すべてで、T/C作成時に受け取る番号リストの提示を求められるので注意が必要である。ドル建てT/Cは主要銀行の本店で交換可能だが、交換に時間がかかったり午後になると交換できなくなったりすることもある。扱う銀行は少ないと考えた方がよい。円建てT/Cは交換できないこともある。Citibank(CITICOPE)のT/Cは主要銀行では扱われていない。また、主要ホテルでT/Cの換金はできない。

6-2 クレジットカード

VISAは、国内主要都市の大きな商店やホテルであれば利用可能である(ホテル、レストラン、スーパーマーケットほか)。MasterCard、Diners Clubは一部で利用可能である。

主要都市でのクレジットカードによるキャッシングはVISAのみ可能である。

新生銀行のキャッシュカードは一部のATMで利用可能である(手数料4%)。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

首都ワガドゥグでは、交通手段としてタクシーとバスがある。都市間では長距離バスが主体で、鉄道は国内1路線、国内航空はワガドゥグ～ボボ・デュラツ間だけである。

<タクシー>

空港、駅、ホテルなどで客待ちする。料金は交渉による。

・乗り合いタクシー :

車体は黄緑色。市内での運行経路はだいたい定まっているが、交渉により目的地まで乗っていくことも可能である。ワガドゥグ市内であれば、通常1,000CFAフ

ラン程度で交渉がまとまる。規定区間を移動する場合の料金は本来距離によるが、200～400CFAフラン程度。外国人に対しては多少高めの額を要求する場合もある。庶民も利用しているために混んでおり、まれに強盗を働く運転手もいるので、利用の際は注意が必要である。

<市内バス>

ワガドゥグ市内バスは6路線、30台のバスで毎日始発の午前5時5分から最終午後22時まで運行している。片道200CFAフラン、長距離300CFAフラン、1カ月の定期券1万CFAフランである。利用している外国人はまれである。

(2) 空港から市内への移動

国際空港は首都の市街地にあり、市内までの所要時間はタクシーで5～15分、料金は1500～2000CFAフランである。

(3) 自家用車を利用する場合

ワガドゥグはバイクと自転車が非常に多く、歩行者も含めて交通法規を守らないことが多いので、運転には細心の注意が必要である。一般に車両、バイクは方向指示灯をあまり出さず、信号の変わり目では赤信号でも右折・左折する。ブルキナファソでは車両は右側通行だが、自転車が左折する時、バイクと同様に道の中央に出てきて道路を横断するように曲がる。車が右折する際、ウィンカーを点滅させていても、直進するバイク・自転車は減速、停止しようとならないので、これらが通過するまで待たなくてはならない。車両の左右から追い越しをするので右折左折にかかわらず、路線変更や車両を寄せる際は注意が必要である。市街地では、道路のセンターラインが消えていることが多く、車両がバイクや歩行者を避けるため頻繁に反対車線にふくらんでくる。整備不良のため、夜間に照明をつけないバイク・自転車や、片側だけヘッドライトをつけて走る車両が多い。

停車が禁止されているのはCentre de Controle de Vehicule Automobiles(車両管理センター近辺とConseil de l'Entente(コンセイユ・ドゥ・ランタントウ)前である。

自動車運転免許に関しては「19-2 自動車」を参照。

(4) レンタカーなどを利用する場合

レンタカーは電話、FAXで予約すれば、空港、ホテルなどまで届けてくれる。詳細は前日か当日に再確認したほうがよい。料金は、四輪駆動車の場合1日75,000CFAフラン程度。同金額には、運転手備上費も含まれている。燃料代は別料金で、通常、満タン借りの満タン返して清算を行う。

自分で運転することを希望する場合、自動車のみを借りることも可能だが、料金は運転手付きに比べて高くなる。

主なレンタカー会社は以下のとおり。



- ・AVIS(アヴィス)
- ・Burkina Auto Location(ブルキナ・オート・ロカスィオン)
- ・Exel Location(エクセル・ロカスィオン)

(5) 地図

ワガドゥグ市、ボボ・デュラッソ市がそれぞれ発行している市内図Plan de la Ville de Ouagadougou、Plan de la Ville de Bobo-Dioulassolには、すべての道路名が記載されている。

全国の主要道路はIGB(ブルキナファソ国土地理院)発行の、100万分の1の地図で確認できる。いずれもホテル売店、書籍コーナーのある大手文房具店で入手可能であるが、品切れの場合が多い。IGB内でも購入することができる。

・IGB(Institut Geographique du Burkina／イジェベ :アンステイテュ・ジェオグラフィック・デュ・ブルキナ)

所在地 :Boulevard de la Révolution(レボルスィオン)沿いAvenue Alwata(アルワタ)の角。

電話 :50-31-33-51 FAX :50-32-48-27

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

事故が起きたら、警察Police(ポリス)か憲兵隊Gendarmerie(ジャンダルムリ一)に連絡する。ワガドゥグでは中央警察署Commissariat Central(コミッサリア・サントゥラル、電話 :50-30-63-82)かGendarmerie(電話 :50-30-62-71、50-33-21-38)へ。より緊急を要する場合は(Vert、電話 :1010)は迅速である。救急車はPompier(ポンピエ、電話 :18)を呼び出す。事故にかかわる車は現場検証が終わるまで絶対に動かさない。なお、Pompierは消防署が所有する救急車で、火災や事故の際に出動する。公的救急車(電話 :50-30-66-43~5)は国立病院ヤルガド・ウエドラオゴの救急部門で病気、事故などの救急時に呼ぶものだが、現在の状態では救急車を呼んでも車両故障やガソリン代がないといった理由のため、非常時に対応できない可能性が高い。

(2) 救急病院

・Clinique Notre Dame de la Paix(クリニック・ノートル・ダム・ドゥ・ラ・ペ)

所在地 :Hôtel Silmandé(ホテル・シルマンデ)の北側、Rue 25.01沿い。

電話 :50-36-26-40

(3) 車両の盗難、車上荒らし

車両の盗難や車上荒らしに遭った場合は、速やかに警察に届ける。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

車両は右側通行。主要な交差点ではロータリーと信号が併設されている。

(2) 罰金、罰則

警官は必要に応じて交通整理をしつつ、信号無視や運転中の携帯電話利用などを取り締まっている。特に外国人に対しては、罰金目当てにより厳しく目を光

らせているので注意する。私服の偽警官もいるので、相手の身分をよく確認する。

7-4 車の修理

(1) 部品

現地代理店で購入した車(トヨタ、日産、三菱、プジョー、ルノー、メルセデス・ベンツなど)の部品は入手できる。

(2) 修理工場

各代理店に隣接している修理工場が最も信頼できる。簡単な整備なら一部のガソリンスタンドでもできる。ブルキナファソで販売されていない車種の複雑な修理はできない。

主な代理店・修理工場は以下のとおり。



- ・CFAO(セファオ)
- ・SAEB(サエブ)
- ・Diacfa Auto(ディアクファ・オート)

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

携帯電話が最も一般的である。主要都市や町であれば、電話センター(Tele Centre)で電話をかけることができるが、村では電話回線がない場所が多く、通信手段の確保は困難である。携帯電話は広く普及しているが、村に入ると電波が繋がらないこともある。

電話センターでは、電話のあるブースで電話をかけると通話料金を提示される。相手から電話センターに電話をかけてもらうこともできる。その場合、まず相手に電話をし、電話センターの番号を知らせて相手からの電話を待つことも可能である。地域によっては非常につながりにくいこともある。

<電話料金>

市内(50km以内) 50CFAフラン/2分 夜間週末割引あり(固定電話から固定電話へ)

市外(50km~) 150CFAフラン/分(24秒ごとに加算) 夜間週末割引あり(同上)
200CFAフラン/分(18秒ごとに加算) 割引あり(固定電話から携帯へ)

海外(日本) 1100CFAフラン/分 夜間割引あり

* 料金に18%の消費税が加算される。

(2) 固定電話

各地区のONATEL(オナテル)で申し込む。回線設置まで1. 2週間程度待たされる。

(3) 国際電話

一般家庭加入電話から国際電話をかけるには、加入時にデポジット料金を払い、国際電話がかけられるように手続きをする。料金は携帯電話より割高。

00+(国コード : 日本の場合81)+(国内番号 : 局番の最初の0を除く)でかけられる。ブルキナファソの国コードは226。

(4) 携帯電話

TELMOB(公社)、Airtel(Zain), Telecel,(イエローページを参照)。GSM方式の携帯電話に各社が支給するチップを入れて使用する。また、プリペイド方式が主流である。各社販売の500~2万CFAフランのプリペイドカードを購入。SMSメール一通につき30CFAフランの送信もできる。日本の機種でもGSM仕様のものであれば使用でき、現地で入手することも可能である。電話機本体のみの購入は8千~20万CFAフランだが、バッテリーパックの入手などを考えると、携帯電話サービス各社が取り扱うセール機種を安価で購入したほうが経済的である。通信インフラの状態ではTELMOBとAirtel(Zain)がよいが、地方都市ごとに状態が違っているので確認が必要である。各社とも在庫との関係でセールの期間や価格が変わる。



- ・TELMOB
- ・Airtel(Zain)
- ・TELECEL

8-2 電信

(1) ファクシミリ

電話回線を引けば同じ番号でFAXが使える。本来はONATELに電話/FAX兼用の申請をすべきだが(料金は割り増し)、電話の申請だけでもFAX機の利用は可能である。ただし、FAX機設置の際に、電話機のみとFAX機ではモジュールの形式が若干異なるので、FAX機が使用できるかどうか確認する必要がある。日本使用のFAXについては方式が若干異なるため(自動受信)、留守番機能が使えないなどの不具合が生じることもある)、秋葉原などの海外向け製品取扱店でブルキナファソの方式との互換性を確認する必要がある。もちろん、ブルキナファソでFAXを購入することもできる。また、PC(モデム、スキャナー、プリンター)でも代用可能である。

(2) 電報

電話公社ONATELで電報を送ることができる。

(3) インターネット

ローカルプロバイダーが数社あり、個人利用の場合には固定電話回線を利用したADSL方式や、USBスティックをPCに差し込む形式が主流である。アンテナを設置して専用線(無線)で接続するサービスもある。ほかにipass系のローミングサービスもあるが、費用の面から長期滞在者はローカルプロバイダーと契約

か、USBスティック型のほうが経済的である。定額制が導入されており、通信速度により料金が異なる(月額1万2000CFAフラン～、初期費用5万CFAフラン～)。日本で入会可能なAOL、AT&Tなどのプロバイダーのアクセスポイントもある。街にはインターネットカフェも多く、スカイプなどで安価に通信することも可能である(15分100CFAフラン～1時間250CFAフラン)。

主なプロバイダーは以下のとおり。



- ・Fasonet(ファソネット)
- ・CENATRIN(Centre National de Traitement de l'Information／セナトリン)
- ・Liptinfor

8-3 郵便

(1) 一般事情

郵便局は各地区にあるが、本局と支局間の連絡が悪いので、郵便の発送は本局を利用したほうがよい。主要ホテルの郵便箱を利用する方法もある。配達が行わないので、職場、ホテル以外で郵便を受け取るためには私書箱を設置する必要がある(年間登録料がかかる)。申請は最寄りの郵便局で行うが、他地区の郵便局でも受け付けることがある。私書箱の数は不足しており、申請してから数カ月待たされる。

郵便物の受け取りは、手紙類は私書箱、小包は各局の窓口、大型荷物は本局の預かり所で引き取る。小包、荷物の引き取りについては、到着案内が配達されてくるので、パスポートなどの身分証明書を持参し、保管料を払う。到着した荷物は開封を要求されることが多く、同一の物品を多量に発送すると課税対象となりやすい。引き取りの際に、郵送品は私用のためであることを強調する。

・郵便局本局

所在地 : Avenue Nelson Mandela

電話 : 50-30-64-20 FAX : 50-33-51-51

E-mail : postfin@sonapost.br

・郵便局小包料金表(日本へ送る場合／単位 : CFAフラン)

1kg	: 1万1260	6kg	: 3万4910	11kg	: 5万8560	16kg	: 8万2210
2kg	: 1万5990	7kg	: 3万9640	12kg	: 6万3290	17kg	: 8万6940
3kg	: 2万0720	8kg	: 4万4370	13kg	: 6万8020	18kg	: 9万1670
4kg	: 2万5180	9kg	: 4万9100	14kg	: 7万2750	19kg	: 9万6400
5kg	: 3万0180	10kg	: 5万3830	15kg	: 7万7480	20kg	: 10万1130

(小包一個につき413CFAフランの手数料が必要。)

・封筒、はがきは日本まで一通830CFAフラン。通常の郵便で早く一週間から10日かかる。

(2) 課税

ブルキナファソ内で販売可能なものは課税対象となる。特にコンピューターな

どの電気製品は規制が厳しい。これらの部品は中古でも正式には課税対象となる。

(3) 国際宅配サービス

書類などの発送を扱う会社は以下のとおり。

DHLは、日本まで最低量小包500g以下で5万CFAフラン。その後250gごとに加算される。日本までの到着はおよそ4日かかる。

クロノポストは、50kg以上500kg未満の荷物で9200+1万184CFAフラン/kg。

日本までの到着はおよそ10日かかる。保険は申告額の0.8%である。



- ・DHL(デー・アッシュ・エル)
- ・Chronopost(クロノポスト)

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の方法

現地で普及している機種および消耗品は入手できる。ある程度の修理も可能である。日本のメーカーのコンピューターについては、修理や消耗品の調達は難しい。USBメモリースティック、SDカード、CD-Rは調達できる。

主な販売店(修理も受け付ける)は以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。



- ・CFAO Technologie(セーファーオー・テクノロジー)
- ・Graphi Service(グラフィ・セルヴィス)
- ・i Story BF

(2) 使用の際の注意

コンピューター故障の原因は主に電源に関するものである。その状況として、停電後、送電が復帰する際に起こる荷電流や瞬間的に起こる断続的停電、停電時自動切り換え型自家発電機の切り換えや故障、落雷などがある。対策としては、電源用、電話専用サージプロテクター(電源タップに付属、現地購入可、1万5000CFAフラン～)、停電状態が終了して送電が行われてから数分間通電を見合わせる通電遅延装置(ディレイ、現地で購入できる定電圧装置に付属、3万5000CFAフラン～)を準備するとよい。なおバッテリーを内蔵しないデスクトップ型コンピューターについては無停電装置(500W、中国製、10万CFAフラン～)の準備も必要である。

日本からノート型パソコンを携行する場合は、必ずリカバリーディスクなどの基本ソフト(CD-ROM)を持参すること。

配属機関のウイルス感染の状況は、機材管理者の能力によってばらつきがあるが、1台のコンピューターから数十、数百のウイルスが出てくることもあるため、ウイルス対策ソフトは必要である。

(3) 修理

「(1) 調達の方法」を参照。

10. 職場環境、 勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

公務員の勤務時間は月～金曜日の7:00～12:30、15:00～17:30。出勤の出足は遅いが、残業はしばしば行われており、土曜出勤も珍しくない。特定の祭日の前日や映画祭、国際見本市などのイベント期間中はjournée continue(ジュールネ・コンティニュー)となり、昼休みなしで7:00～14:30が勤務時間となることもある。

(2) 有給休暇

公務員に認められている有給休暇は年30日間。研修資格試験のための休暇や、冠婚葬祭の場合は1親等以内および兄弟姉妹に対し3～15日間認められる。また産休と夫に対する出産補助休暇もある。法事、通過儀礼などの伝統的な業務は明文化されてはいないが、不在許可が下りる(有給)。

(3) 執務室

派遣中のJICA専門家には個別の執務室が与えられている。携行機材のパソコンなどの執務環境はおおむね良好といえるが、一般電話回線の管理上の問題からインターネット接続ができない場合やFAXの受信ができない場合があるなど、通信事情にはいくつかの問題がある。

(4) 通勤事情

多くのJICA関係者は運転手を雇用し、自家用車で通勤している。自宅から職場までは渋滞がなければ10分、渋滞時は30分ほどかかる。自宅が職場に近い場合は自転車または徒歩で通勤している。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

ワガドゥグ国際空港は、タラップを降りてバスに乗り到着口へ移動する。出迎えは通常、空港出口で行うが、特別な場合は荷物引き取り場まで入場が認められる。要人のためのVIPルームは一般到着口と別の建物にある。

(2) 入国手続き書類

検疫(santé :サンテ)で(黄熱病)イエローカード(予防接種証明書)、入国審査で入国カードとパスポート、滞在ビザを提示する。滞在ビザは在日本ブルキナファソ大使館にて入手可能であるためあらかじめ用意しておくべきであるが、空港でもビザの取得は可能である。ただし、数日パスポートを入国審査事務所に預け入れしなければならない。その際パスポート受領まで仮の入国証が渡される。

(3) 入国審査

入国カードをすべて記入していれば質問されることは少ない。滞在場所にはホテル名などを記入しておく。

(4) 税関検査

通常、荷物を開けて、申告するものがあるかどうかの検査を受ける。申告書を用意し、課税対象となるものについては税金を支払わなければならない。

荷物検査をされた場合、電気製品、特にコンピューターの持ち込みは課税対象となるので、私用であることを強調する。新品は持ち込まないほうが無難である。

また、モバイルコンピューターを持ち込む場合、個人が使用するものとして問題はないが、やはり販売目的で持ち込むと疑われるような梱包は避けたほうが賢明である。場合によっては、税金をかけられる。

(5) 空港内での留意点

空港での盗難の事例はないが、注意が必要である。カートにはそれぞれにポーターがついている。ポーターへのチップは、荷物の個数にもよるが1000CFAフラン程度。出口までトイレはない(事情を説明すれば一時的に出ることは可能)。

(6) 空港からの主な交通手段

ワガドゥグ市内ならタクシーを利用する。料金は市内まで500～1000CFAフランである。宿泊予定のホテルの送迎バスを予約しておくとう便利である。

(7) その他の留意点

時期にもよるが、空港内には多くの蚊が発生している。パリ発の到着便の多くが夕方から夜間に到着することから、通関や荷物受け取りの際、虫除けなどの対策をとるとよい。空港で蚊に刺され、マラリアを発症したと思われるケースもある。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

出国入口で航空券とパスポートを提示し、出国カードをもらう(見送りはここまで)。チェックイン後にパスポートコントロールで、パスポート、航空券、搭乗券、出国カードを提示する。そのあと、手荷物検査を経て待ち合いロビーに進む。

エール・フランスの場合、搭乗前に改めて手荷物検査があり、かなり綿密に調べられる。

(2) リコンファーム

エール・フランス便ではリコンファームは必要ないといわれるが、6か月以上前に予約を取った場合はフライトスケジュールの変更で便がなくなっている場合もあるので、エール・フランス事務所でリコンファームが必要でないと言われても、確認を求めること。他のエアラインについては出発3日前までにはリコンファームをしておくこと。

(3) チェックイン

フライト予定時刻の2時間前。(2時間前だとチェックインカウンターが非常に混雑する。3時間前に余裕をもったチェックインすることも可能)

(4) 空港利用税

チケット料金に含まれている。

(5) その他の留意点

再入国する場合は、ビザの有効期限を確認する。出国審査の時に滞在したホテルの部屋番号を聞かれることが多い。

Gounghin(グンゲン)地区、Avenue Kadiogo(カディオゴ)沿いのDCM (Ministère de l'Administration Territoriale et de la Sécurité, Division du Contrôle de la Migration)事務所でビザの延長ができる。1日程度で取得できる。パスポート用写真2枚、および1~3カ月(数次)滞在ビザ発行は12万2千CFAフラン、4~12カ月(数次)の滞在ビザ発行に15万6千CFAフランかかる。

11-3 帰国手続き

(1) 車の処分

買い手は知人の紹介か、スーパーマーケットなどの掲示板に広告を出して探す。

(2) 家財道具の処分

家財道具を現地で処分するなら、ほかの日本人に譲渡・売却するか、スーパーや学校の掲示板に広告を出す。

日本への輸送は、輸送会社を利用する。実績がある輸送会社に次のものがある(詳細はイエローページを参照)。



・AGS(アー・ジェー・エス)

日本の通関会社については、会社名と電話・FAX番号がわかっている指定できる。航空便、船便ともに可能である(ただし、船便は郵便局から直接発送したほうが安い)。

輸送は一括でも、私品と公品と別々の見積もり書・領収書を発行する。手続きにはパスポートコピーと、所属先などが発行する出国証明書が必要である。出国証明書には、氏名、パスポート番号、生年月日、出発日などを明記する。

(3) 住宅の明け渡し

家主への通知期限は賃貸契約書に明記されている(通常1~3カ月前)。電気、水道、電話のデポジットは手続きの当日に返還される。次の借家人が決まっている場合は、家主が了承した上で、デポジットの権利を次の借家人に委託することを記載した証明書を作成して、次の借家人からデポジット額を受け取ることもできる。証明書は3通作成し、家主にも1通渡す。

(4) 外貨持ち出し規制

通常、出国時に検査はない。しかし、長期の他国への出張の際など、CFAフラ

ンを百万単位で大量に持ち出す場合は、目立たないようにするなどの配慮が必要である。

主な航空会社は以下のとおり。(詳細はイエローページを参照)。



- ・Air France
- ・Air France (空港付事務所)
- ・Air Burkina
- ・Royal Air Maroc
- ・A-Sky
- ・Bruxelle airline
- ・Kenya Airways

12. 治安 緊急時の心得



※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

- 治安状況はいつ悪化するか予測不可能なため、常日頃より十分な注意が必要である。
- 特に2011年3月～6月にかけての軍兵士による待遇改善を求めた騒乱は、これまでのブルキナファソの歴史に残る流血事態へと発展し、JICA関係者は国外退避をする事態となった。その後ブルキナファソ政府は軍・政治改革、社会対話を継続して実施しており、軍騒乱の再発リスクは一定程度低下しているとみられている。しかしながら、軍騒乱の再発リスクも念頭に、緊急連絡手段の確保やいざという時の自宅待機への備えや緊急国外退避への備えなど、対策を怠らないことが肝要である。
- また、イスラム・マグレブ諸国のアルカイダ(AQMI)のリスクには十分に注意する必要がある。ブルキナファソ北部(ドリ、ジボ、ワイグヤを結ぶ主要道路以北)地域への渡航については憲兵隊の護衛を依頼するなど、特別な配慮が必要である。
- 社会各団体が待遇改善を求めたストライキ、デモなどは継続的に行われており、また学生による政府当局・治安当局へのデモも公共施設の焼き討ち、投石、路上封鎖など、過激化することも見られるため、デモ、人だかりを見かけたら近づかないなど、基本的な安全対策を日頃から徹底する必要がある。
- また交通事故も非常に多く、2010年の警察統計ではワガドゥグ市内で年間7,442件(1日20件)の交通事故が発生し、ワガドゥグ市内だけでも死亡者数は357人に上ったとされており、車両・バイクに関連した事故には細心の注意が必要である。

(2) 対処法

- 基本はセルフディフェンスであり、各自が安全情報に気を配り、適時・適切に情報を収集するよう心掛ける。

- 緊急連絡手段を確保し、携帯電話のマナーモードは解除するなどして、深夜でも関係者からの緊急連絡を受けられる体制を取る。
- 関係者間での居所に関する情報共有を密に行うこと。
- 国外退避が必要でかつ民間機の利用ができなくなった場合は、フランス大使館・軍などに頼ることも想定される。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

アフリカ域内では比較的治安情勢が安定しており、凶悪犯罪は少ないと考えられているが、強盗、空き巣、すり、ひったくり、詐欺等の一般犯罪には注意が必要である。首都ワガドゥグでは外国人を狙った犯罪が増加傾向にあると言われている。具体的には夜間の徒歩・自転車での移動などの際のひったくり被害(バイクに乗った二人組み強盗が特に多い)、不注意による置引被害などが多い。また、雇用者(警備員、家政婦など)による物取り、空き巣などの被害もあることから、雇用者とのトラブルを避けるためにも貴重品は施錠をして適切に管理する必要がある。(ホテル宿泊の際などにも同様に注意が必要) 一般犯罪は、特にタバスキ(イスラム教の祭事)、新学期(10月)、クリスマス等の前後に多発する傾向にある。

(2) 住宅の防犯対策

一軒家にガードマンは絶対必要で、24時間警備することが望ましい。また敷地境界の塀の高さを確保する、塀の上部の鉄柵設置、住居入口ドアの2つ以上の施錠など、基本的防犯対策は怠らないこと。

(3) 市中での防犯対策

強盗に対しての心構えとして、以下の点に留意する。

- ・危険な地域で1人にならない(特に夜間)。
- ・必要がない限りかばんなどを持ち歩かない。
- ・集団で移動する。
- ・なれなれしく近づいてくる見知らぬ人に気をつける。
- ・必ず見張りのいるところに駐車する。
- ・窓を開けている時に、運転席や助手席に物品を放置しないで、床か後部座席に置く。

(4) 注意すべき場所、危険地域

ワガドゥグでは、特に中心部のクワメンクルマ通り付近や中央市場、クルバ地区、事務所近くのグンゲン地区でも外国人居住者の犯罪被害(盗難など)が起きている。

(5) 被害時の心得

刃物、銃器を持つ相手などに遭遇した場合は、抵抗せずに無抵抗主義に徹すること。

被害を受けた場合は警察(Police Secours)に連絡する(電話 : 17または

50-30-71-00)。より緊急を要する場合は、警察と憲兵隊で構成されたNumero Vert(電話 :1010)は迅速である。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

雨季には洪水被害が時折発生するため注意が必要である。火災は少なく、地震は発生していない。

(2) 防災対策

一軒家の場合、雨季の暴風雨を想定して家を整備する。停電が多いので、懐中電灯やろうソクはすぐに使えるようにしておく。また、断水に備えて、飲料水をストックしておく。

(3) 被災時の心得

ほかの在留日本人に連絡する。

近隣で火災が起こった場合、ブレーカーをおとすようにする。

12-4 緊急連絡先電話番号

- ・警察 :17
- ・消防 (救急車) :18
- ・強盗、犯罪の際の通報 :1010(Numéro vert、24時間対応)
- ・救急車(プライベートクリニック・フランボワイヤン) :50-30-76-00
- ・憲兵隊 :50-30-62-71(ワガドゥグ)、80-00-11-45(緊急時)

13. 社交



13-1 風俗習慣

国民の3割はイスラム教徒で、ラマダン(断食)をする人もいる。一般にイスラムの戒律はそれほど厳しく守られてはいない。

13-2 パーティーでの留意点

イスラム教徒に対して豚肉、酒類を給仕しないのが原則である。魚以外の魚介類は、ブルキナ人にはあまり好まれない。

13-3 来客時の留意点

ブルキナファソの一般家庭では、来客された方に対し、先にコップ一杯の水を振舞うことが礼儀とされている。

13-4 訪問時の留意点

パーティーや自宅に招待されたとき手土産などは特に必要ないとされている。贈り物を遠慮することは無礼とされている。

13-5 禁止されている言動(タブー)

大統領府周辺、空港、ダム、軍関係施設および軍事関係者などのビデオ・写真撮影は禁止されている。撮影機材ごと没収されるので、市内の撮影には注意が必要である。どうしても必要な場合は関係機関から撮影許可を得たほうがよい。

挨拶を大切にする国民なので、挨拶の省略はしない方がよい。

左手で握手や物の受け渡しをすることは無礼とされている。

13-6 日本人会

存在しない。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

同窓会はあるが、活動はあまり活発ではない。

13-8 現地の人々との交流

該当情報なし。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

フランス系学校の小・中・高校(普通)はそれぞれ6年、4年、3年制である。インターナショナルスクールはgrade1から12まで。大学は首都にワガドゥグ大学、ポボ・デウラツソにポボ・デウラツソ理工科大学とクドゥグ大学がある。学期始まりは9月である。

(2) 日本人学校

日本人学校および補習校はない。すべての家庭用学習教材は携行したほうがよい。日本の小中学校の教科書は大使館から配布される(大使館に在留届を必ず出すこと)。

同伴子女の教育については、下記に問い合わせるとよい。

<海外子女教育振興財団>

URL : <http://www.joes.or.jp/>

E-mail : service@joes.or.jp

受付時間 : 9:30~17:30(月~金曜日、祝日・年末年始を除く)

・東京

住所 : 〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL : 03-4330-1349 FAX : 03-4330-1355

・関西分室

住所 : 〒530-0001大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200大阪駅前第一ビル2階

TEL :06-6344-4318 FAX :06-6344-4328

(3) 現地校、外国人学校

現地校については該当情報なし。

フランス系学校、インターナショナルスクールは以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。



- ・Ecole Saint-Exupéry(エコール・サンテグジュペリ)
- ・Lycée Saint-Exupéry(リセ・サンテグジュペリ)
- ・ISO(International School of Ouagadougou/イソ :インターナショナル・スクール・オブ・ワガドゥグ)

(4) 幼稚園

上記のEcole Saint-Exupéry(エコール・サンテグジュペリ)幼稚園部、ISO(インターナショナル・スクール)幼稚園部のほか、次の幼稚園がある。



- ・Jardin d'Enfants Les Lutins(ジャルダン・ダンファン・レ・リュタン)
- ・Ecole BAMBI(エコール・バンビ)

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

下記の図書館が利用できる。



- ・Centre Culturel Français(サントル・キュルチュレル・フランセ/フランス文化センター)

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

家政婦/夫、子守、洗濯人、料理人、警備員、庭師、プール管理人、運転手などの職種がある。家政婦/夫に子守や洗濯を兼任させたり、庭師にプール管理を任せたりすることも可能である。いずれも知人の紹介で探すのが最も確実である。

使用人の雇用に関しては以下に示すような法律があり、当局への届け出、税金や社会保険料の支払いも義務づけられている(使用人が、税金や社会保険料の分を給料として毎月受け取るほうを希望する場合もあり、すべての外国人がこれを実行しているわけではないものの、法律的にこれらの支払い義務は雇用者にあるので注意)。使用人との裁判などのトラブルを避けるために、契約書を作成して労働条件を細かく決めておいたほうがよい。明らかに重大な過失がない限り使用人の解雇は難しいので、雇用に際して試用期間を設けたほうがよい。雇用者が外国人の場合、不当解雇の訴訟が比較的起こりやすい。万一のためにも怠慢や過失については、その都度警告レターを出し、コピーを保管しておくべき。最低賃金は職種・経験により定められているが、外国人が雇用する場合の相場はこれより高い。

<家庭使用人の雇用に関する主な規定> (主に2008年労働法参照)

- ・契約: 契約書は大きく①契約期限付きと②期限なしの2種類に分かれる。
①は2年以下の雇用に限られ、途中で解雇する場合、通常は契約期間満期までの契約金額を支払う義務が発生する。②の場合には正当な理由(離任など)があれば解雇通知(後述)を出すことで解雇が可能。
- ・試用期間: 1カ月。さらに1カ月更新可能。
- ・労働時間: 拘束時間(昼休みなどを含む)は1週間で40時間。これ以上の勤務に対しては、THB(基本時給=基本給月額÷173.33)に以下に示すとおりの額を上乗せして払う。
 - ・超勤8時間まで : +10%
 - ・超勤8時間以上 : +35%
 - ・平日の夜間(22:00~5:00) : +50%
 - ・日曜・祝日 : +60%
 - ・日曜・祝日の夜間 : +120%
- ・最低賃金:
 - カテゴリー1 : 33,153CFAフラン
※経験6ヶ月未満、資格のない者(庭師、警備員、洗濯人など)
 - カテゴリー2 : 33,372CFAフラン
※カテゴリー1からの昇格あるいは経験6~12ヶ月の者(庭師、警備員、洗濯人など)
 - カテゴリー3 : 34,563CFAフラン ※カテゴリー2からの昇格あるいは経験12~18ヶ月、専門知識のない者(庭師、警備員、洗濯人、料理人補助など)
 - カテゴリー4 : 35,757CFAフラン ※カテゴリー3からの昇格あるいは経験18ヶ月以上、読み書き可能で配慮の必要な業務を行う者(未経験子守、経験2年以上の料理人、未経験使い走りなど)
 - カテゴリー5 : 38,139CFAフラン ※カテゴリー4からの昇格あるいは小学校卒業証書+専門性/運転免許を有し特別な配慮や肉体労働の必要な業務を行う者(経験3年以上の子守・料理人、運転手、経験豊富な庭師など)
 - カテゴリー6 : 41,591CFAフラン ※カテゴリー5からの昇格あるいは専門業務経験により得られる知識を必要とする業務を行う者(経験豊富な子守・運転手、経験豊富な料理人など)
 - カテゴリー7 : 48,195CFAフラン ※カテゴリー6からの昇格あるいは中学校卒業証書または相当する資格+職業訓練経験を有し自立的に専門的な業務を行う者(単独でレセプション運営が可能な料理人など)
 - カテゴリー8 : 60,471 CFAフラン ※カテゴリー7からの昇格あるいは

は職業適性証書または相当する資格＋職業訓練経験を有する者
(給仕長など)

(カテゴリー区分は2010年政令、最低賃金は2006年政令参照)

- ・勤続手当: 3年目以降以下の係数を基本給に乗じた金額を支払う。
 - ・3年目: 5%
 - ・4年目以降: 1年ごとに1%加算
- ・社会保障: 雇用開始から7日以内に雇用者は社会保障公庫CNSS(Caisse Nationale de Sécurité Sociale)に届け出て、四半期ごとに社会保険料を支払う義務がある。社会保険料は月給の16%に相当し、うち雇用者が10.5%、被雇用者が5.5%負担する(2003年政令参照)。ただし被雇用者負担分も雇用者に徴収義務がある。
- ・休日: 1週間に1日の定休日(通常は日曜日)を確保する必要がある。
- ・療養休暇: 使用人が傷病のため療養休暇を取る場合は、72時間以内に雇用者に連絡し、6日以内に医師診断書を提出する。
療養期間中、雇用者は以下のとおりの給料を支払う。
 - ・勤労年数1年以内: 初めの1カ月は月給全額、2カ月目は半額
 - ・勤労年数1～5年: 初めの1カ月は月給全額、その後3カ月間は半額
 - ・勤労年数6～10年: 初めの2カ月は月給全額、その後3カ月間は半額。
- ・出産休暇: 妊娠を理由に解雇することはできない。出産休暇は出産予定日より8週間前から、出産後は10週間まで計14週間取得することが可能。使用人合意があっても出産後6週間は休暇を取らせることが義務付けられている。出産休暇期間の給与は社会保険から支給される。
- ・有給休暇: 有給休暇は1月あたり2日半(1年で30日)と計算されるが、取得する権利が発生するのは雇用1年後から。
解雇時に消化されていない有給休暇がある場合は(雇用期間が1年未満であっても)「過去6カ月までの月給(基本給+残業)平均額×勤続月数÷12」に相当する報償金を支払う(つまり有給休暇を買い上げる)。
休暇中に支払われるはずの給与は、使用人の休暇取得前に前払いする。
- ・特別休暇: 6カ月以上勤務した場合、年間10日の上限内で、家族にかかわる下記の行事のために有給休暇とは別に休みが取得できる。
 - ・本人の結婚、子の誕生、配偶者/子孫/父母の死亡: 3日
 - ・子/兄弟の結婚、兄弟/義父母の死亡: 2日
- ・解雇: 解雇する場合は、最低1カ月前に、解雇の理由および1カ月の予告

期間を明記する解雇通知を使用人に手渡す(期限付きの契約の場合は不要)。解雇通知コピー(使用人の受領サインのあるもの)を労働検査局に提出する。この1カ月の予告期間中、使用人は再就職のために8日間の休暇を取得できる。契約終了時に労働証明書を作成して使用人の給与レベル(後述)を示す。

1年以上働いた場合、解雇手当として「過去12カ月の月給の平均」×(係数)×(勤続年数)を払う。ただし使用人に重大な過失があった場合は、払わなくてもよい。係数は以下のとおり。

・勤続期間5年以内 :25%

・勤続期間6～10年 :30%

・勤続期間10年以上 :40%

例)月給5万CFAフラン(勤続年数6年6カ月の場合)

$(5万 \times 25\% \times 5年) + (5万 \times 30\% \times 1.5年) = 8万5000CFA$

15-2 運転手

(1)雇用

自分が事故を起こした場合を考えると、運転手を雇ったほうが無難である。よい運転手は知人から紹介してもらうのが最も確実である。試用期間を設けて運転マナー、整備の知識をチェックするとよい。フランス語はある程度話せるが、書けないという運転手が多い。

外国人が雇う運転手の場合、給与は最低7万CFAフラン程度である。一般的に仕事が夜間まで延びた場合は500～1000CFAフラン、22:00以降になればさらに500～1000CFAフラン程度のチップを超勤分として払う慣習があるが、労働法との適合性を考慮しつつ、契約時に明確にしておいたほうが良い。

(2)日常管理

出勤時間は守る運転手が多い。食事会や残業で勤務時間が不規則になる場合は、運転手の食事時間を考慮して休憩時間を明確に告げる。

日常の保守点検、洗車は運転手が行う。経験のある運転手なら燃料補充、オイル交換、定期点検の時期を知らせてくれる。維持管理・ガソリン代の支払いは自分で行うほうが無難だが、運転手を信頼できるようになったら、必要な金額を渡して領収書をとらせてもよい。

一般にスピードの出し過ぎ、信号無視、急な進路変更などをする傾向がある。運転で気になる点があれば、その都度注意したほうがよい。

(3)その他の留意点

フランス語が話せても読み書きができない運転手もいるので、看板などを目印に目的地を探す場合は注意が必要である。

15-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

家政婦／夫は、掃除、洗濯、皿洗い、料理、買い物などを行う。仕事の量によっては2人必要になることもある。

(2) 雇用

知人の紹介が最も確実である。経験者が望ましく、試用期間を設けてから正式雇用したほうがよい。

ブルキナファソの法律では、エイズ感染者であることを理由に不採用にしたり解雇したりすることはできない。

(3) 日常管理

経験の浅い家政婦／夫は、電気・調理器具の扱い方を知らないなので、初めは細かく指示する。また、衛生概念が違うので十分な指導が必要である。

15-4 庭師、警備員

住宅の警備員は不可欠である。知人の紹介などで個人的に雇う場合も多い。主な大手の警備会社は以下のとおり。

- ・BBS (Bureau Burkinabè de Sécurité) 電話:50-31-80-53
- ・AGSP (Agence Générale de Surveillance et de Promotion Rapprochée) 電話:50-33-19-19
- ・Multi Presta Service 電話:50-30-80-28/50-31-28-08
- ・Services Universels 電話(ワガドゥグ):50-31-05-15 (ボボデュラソ):20-97-43-43

庭師、プールの管理人の給料は、住宅の大きさ業務内容による。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

日刊紙は「Le Pays」「Sidwaya」「Observateur Palga」「Le Journal du Soir」(夕刊)、週刊紙は「L'Indépendant」(火曜発売、最も反体制的)、「Le Journal du Jeudi」(木曜)などがある。いずれも仏語紙で、1部150～250CFAフラン。路上で購入できる。ときどき前日の新聞を売ったりするので、その場で日付を確認したほうがよい。

(2) 日本の日刊紙

OCSサービスはないので、日刊紙などを購読したい場合は日本で契約をすること。

(3) 欧米紙／誌

ホテル売店などで「New York Times」「Le Monde」「Figaro」などを購入できる。ただし日付は1～3日前のもので、かなり割高である。定期購読に関する情報は

ない。

- (4) 日本の雑誌、書籍
該当情報なし。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

主なラジオ放送は以下のとおり。

Radio Burkina	: 92.0MHz
Radio Horizon FM	: 104.4MHz
Radio Energie	: 103.4MHz
Radio Arc-En Ciel	: 96.6MHz
RFI	: 94.0MHz
AFRICA No.1	: 90.3MHz

(2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

聴取状態は良好である。

<NHKワールド・ラジオ日本問い合わせ先>

NHK国際放送局国際編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111(平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から : 0570-066066(NHK視聴者コールセンター/24時間
受付)

Email : nhkworld@nhk.jp

・周波数表、番組表

URL : <http://www.nhk.or.jp/nhkworld>

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号260

(日本語放送の周波数表・番組表FAXサービス)

郵送 : 上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3) 聴取可能なその他の外国放送

BBC、VOA、ドイチェ・ベレが聴取できる。

16-3 テレビ

(1) 地上波放送局

無料の地上波放送局は以下のとおり。

- ・RTB : VHF175.25MHz(D/K)。国営放送局。昼休みの時間帯と夕方から23時まで放送。
- ・TVAFRICA : UMF471.20MHz(D/K)。音楽ビデオクリップなど24時間放送。
- ・宗教(キリスト教)放送 : 夜間の放映。
- ・CANAL3(INFO) : UHF647.20MHz(D/K)。昼すぎから深夜まで放送。

- ・TV5 :UHF 687.20MHz(B/G)。24時間放送。
- ・EURO NEWS :UHF 719.10MHz(B/G)。24時間放送。
- ・BF1 :8時から23時まで放送

(2) 衛星放送、ケーブルテレビなど

大型ディッシュの衛星放送用アンテナであれば、NHKワールドTVの視聴は可能である。Canal Satelliteという小型ディッシュの衛星放送の契約では40チャンネルの視聴が可能であるが、NHKワールドTVは視聴できない。

<NHKワールドTV問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地:〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話:海外から:+81-3-3465-1111(平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から:0570-066066

(NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

E-mail:nhkworld@nhk.jp

<番組表の入手>

URL:<http://www.nhk.or.jp/nhkworld/>(週間番組表確認)

FAX:+81-3-5454-0888 情報番号258(週間番組表FAXサービス)

ケーブルテレビ・アンテナとチューナー(Décodeur 17万1000CFAフラン)を取り付け、Neerwaya Multivision(電話:Administration:50-31-82-82、Centre commercial:50-31-63-63、Centre technique:50-31-71-71)で契約すればケーブル放送が見られる。

TV5はフランスの番組、Cartoonはマンガ、Traceは音楽番組、Canal Horizonsは映画である。

衛星放送は、パラボナアンテナを取り付ければ、CNNなど数多くの番組を受信できる。資機材・契約料とも非常に高い。テレビ番組案内の月刊誌『Clin d'Oeil(クラン・ドゥイ)』がある。

(3) テレビ受信

SECAM(セカム)方式である。国営放送RTBは屋外アンテナなしで受信できる。地上波放送に関してはPALとSECAMが混在し、ビデオソフトも複数のテレビ方式が混在している。そのため現地で販売されているテレビはほとんどがマルチシステム(再生、録画可能、変換機なし)をとっている。また、ビデオデッキなどもNTSC方式を含むマルチシステムが多い。

17. スポーツ、 趣味、語学学習



17-1 スポーツ

(1) ゴルフ

ゴルフ用具は現地では調達できないので、日本やヨーロッパで調達すること。

ゴルフは一部の外国人しかプレーしていないマイナーなスポーツである。非常に

暑く、木陰で休む場所もないため、早朝にプレーを開始しないと、熱射病や熱中症にかかる恐れがある。ナイター施設はないので、夕方からのプレーはできない。以下のゴルフ場がある(詳細はイエローページを参照)。

Yellow Page ・Club de Golf

(2) プール、テニス、フィットネス

プールは2つ星以上のホテルにはたいていあり、使用料は大人1日1000～2500CFAフラン程度である。このほか、ISO(インターナショナルスクール)、Club SONABELにもプールがある。テニスコートは主要ホテルなどにある。用具・ウェアは日本から持参したほうがよい。

Yellow Page 〈プール〉

- ・Hôtel Laico Ouaga2000(ホテル・ライコ・ワガ2000)
- ・Hôtel Silmandé(ホテル・シルマンデ)
- ・Hôtel Azalai Indépendance(ホテル・アザライ アンデパンダンス)
- ・ISO(インターナショナルスクール)
- ・Club SONABEL(クリュブ・ソナベル)
- ・The Rec Center(レックセンター)

〈テニス〉

- ・Hôtel Laico Ouaga2000(ホテル・ライコ・ワガ2000)
- ・Hôtel Silmandé(ホテル・シルマンデ)
- ・Hôtel Indépendance(ホテル・アンデパンダンス)
- ・The Rec Center(レックセンター)
- ・BCEAO運動施設

〈フィットネス〉

- ・Hôtel Laico Ouaga2000(ホテル・ライコ・ワガ2000)
- ・Club SYNO VIE
- ・Super Gym Club

(3) その他のスポーツ

Yellow Page その他のスポーツとして以下のものがある(詳細はイエローページを参照)。

〈柔道〉

ワガドゥグに柔道クラブがいくつかあり、連盟もある。

〈狩猟〉

いくつかの国立公園で狩猟ができる。大型獣は12月15日から3月15日まで、小型獣は12月15日から5月31日まで。銃携帯許可証、狩猟許可証が必要である。

環境水省地方局(Direction Régionale de l'Environnement et de l'Eau)に問い合わせる。

〈乗馬〉

- ・Club de l'Etrier Burkinabé

- ・Club Polo`a Nonyougo

- ・Cheval Mandingue

<体操>

- ・Super GYM Club

- ・ABCS

- ・Centre Culturel Français

<フットボール>

- ・Football Amicale les Margouillats

<ラグビー>

- ・Rugby le Pilanou

<ヨガ>

- ・Centre Culturel Français

<ダンス>

- ・Centre Culturel Français

<ペタンク>

- ・Pâtisserie-Koulouba

<モトクロス>

- ・Club de Moto

17-2 趣味

<写真>

ワガドゥグ市内のスタジオで現像、証明写真(6枚2000CFAフラン)撮影はできる。デジタルカメラのメモリによるプリントやAPSも現像可能。1枚100~150CFAフラン。カメラ用電池は、特殊なものでなければ写真スタジオ、スーパーマーケットで入手できる。現像・焼き付けはあまりよくないが、韓国系経営の店が比較的良好である。

主な写真店・現像所は次のとおり。



- ・Lotte Photo Couleur(ロッテ・フォト・クレール)

- ・Africa Photo

- ・Photo Luxe

<ビデオ・DVD>

ブルキナファソのビデオ・テレビはフランスと同じSECAM方式である。SECAMとPALのマルチビデオは入手可能だが、日本で3倍速録画したテープの再生画像は劣悪である。ただし、こちらで購入可能なNTSC 3.58、4.43、SECAM B/G、D/K対応の標準と3倍速の切り換え付きの高価なビデオデッキ(30万~42万CFAフラン)であれば再生は可能である。

レンタルビデオショップは非常に多く、48時間レンタルで500~1500CFAフラン程度。日本からビデオテープを送付する際、通関では他の物品同様、新品を多


量に持ち込むと課税される可能性があるので、自家用であることを強調する。

DVDは1750～2000CFAフラン、DVDレンタルは48時間レンタルで500～1500CFAフラン程度。DVDプレーヤーは5万～20万CFAフランである。

主なビデオデッキ販売店は以下のとおり。

 Yellow Page ・Merveille(メルベイユ)

<園芸>

 Yellow Page ワガドゥグ市北部のダム、Barrage(バラージ)No 3 周辺に苗木の販売所がある。そのほかに、CNSF(セー・エヌ・エス・エフ : 国立樹木種子センター)がある。


17-3 語学学習

仏語や現地語については、ワガドゥグには語学学校はなく、知り合いを通じて家庭教師を雇うことになる。しかし、教授法などを学んでいない教師が教える場合、文法等を体系的に学ぶのは難しい。

ボボ・デュラッソ市には、個人の要望に合わせて講座を用意してくれる外国語学校があり、モレ語、ジュラ語といった現地語を学ぶことができる。しかし、それ以外の現地語は対応していない。

(1) 語学学習施設

語学学習施設として以下のものがある。

-  Yellow Page ・Centre Culture Français Georges Melies
(ジョルジュメリーフランス文化センター。但し、フランス語教室無し)
- ・Centre Culturel Américain(サントウル・キュルチュレル・アメリカン)(英語)
 - ・Canadian Language Center(カナディアン・ランゲージ・センター)(英語)
 - ・Centre Culturel Arabe Lybien(サントウル・キュルチュレル・アラブ・リビアン)
(アラビア語)

(2) 家庭教師

フランス語家庭教師は教諭、大卒、ワガドゥグ大学生などから、比較的簡単に見つけられる。

教授法を習得した者はまれであるが、ブルキナファソ人の英語教師は教授法を習得しているためフランス語を教授してもらうことができる。英語教師もブルキナファソ人のなかから見つけられる。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

- 2011年3月～6月にかけてブルキナファソ軍騒乱が発生しており、突発的な治安悪化への対処を常に念頭に置く必要がある。詳細は「14. 治安」を参照のこと。またJICA関係者へは軍拠点都市(ワガドゥグ除く)を超えての渡航は当面禁止の措置を取っている。

- ※軍拠点都市: Ouagadougou, Bobo-Dioulasso, Dédougou, Ouahigouya, Léo, Gaoua, Po, Tenkodogo, Fada-Ngourma, Kaya, Dori, Gorom-Gorom
- また、イスラム・マグリブ諸国のアルカイダ(AQMI)のリスクには十分に注意する必要がある。ブルキナファソ北部(ドリ、ジボ、ワイグヤを結ぶ主要道路以北)地域へはフランス、米国政府等も渡航を控えるよう注意喚起が発出されており、同地域への渡航は推奨されない。(日本外務省の渡航情報も参照のこと)なお、JICA関係者へは同地域の渡航は禁止の措置を取っている。
- また当地で特徴的な犯罪の一つに路上封鎖強盗がある。これは武装団が路上で通行車両を武器などを用いて足止めし、金品等を奪う犯罪手口である。同手口は特に森林エリアや人・村の粗密なエリアがより狙われやすいとされ、また国境エリアから概ね20km圏内程度は強盗団が強盗の後に隣国へ逃げることも容易であるため、リスクが高いとされている。また時間帯は4分の3以上が夜間及び早朝(日没後の時間帯)に発生しているとされている。
- 雨季(6-9月)には集中豪雨により未舗装道路や低地一帯が冠水することもある。洪水被害も発生しているため、雨季の場合には天候にも十分注意すること。
- 主要都市の出入口で警察の検問と通行税の徴収(主要都市間の往復で400FCFA程度)がある。
- 車両の故障、パンクなども頻繁に発生するため、長距離渡航の前には車両点検を行い、また予備タイヤの搭載も重要となる。

その他、移動手段ごとの留意点は以下の通り。

<自動車>

ワガドゥグと主要都市はおおむね舗装道路で結ばれている。未舗装なのは、Dédougou(デドゥグ)、Djibo(ジボ)方面である。道路案内は比較的よく整備されている。首都と地方都市にはガソリンスタンドが必ずあるが、村にはまったくない。地方ドライブでは、家畜の群れと人・自転車の横断に注意する必要がある。特に幹線道路が村落のなかを通る場合は十分減速する。未舗装道路では、先行車が舞い上げた土ぼこりのなかを住民が往来している。

<バス>

主要都市間は毎日走行している。ワガドゥグでは会社ごとにバスターミナルの場所が異なる。一部冷房車もある。チケットは前日までに買っておくとバスに乗り込む順番が早くなる。日の当たる席は避けたほうがよい。

<鉄道>

鉄道は1路線。コートジボワールのアビジャンから西部のBobo-Dioulasso(ボボ・デュラッソ)を經由して首都ワガドゥグに達し、さらに北のKaya(カヤ)まで延

びる。週3便。

<航空機>

国内路線はAir Burkina(エール・ブルキナ)のワガドゥグ〜ボボ・デュラツソ間のみで週2便の運行。(Ariella Airlineがワガドゥグ〜ボボデュラツソ間の就航を準備しているが2011年10月時点では就航は開始していない。)緊急の場合はチャーター機の手配が可能であるが、管制塔の許可などの手続きでフライトまで3時間程度かかる。

18-2 主要観光地・保養地・イベント

上記(18-1)に記載の点には十分留意が必要であるが、ワガドゥグ及び近辺においては以下のような観光地、保養地、イベントがある。

<日帰り圏内>

・ワニの沼(Mare aux Crocodiles／マール・オ・クロコディル)

ワガドゥグの西方約90km、Sabou(サブ)の沼にワニが棲息している。Bobo-Dioulasso 方面に向かいSabou 町中のGendarmerie の先を北上する。ワニは鶏(餌代2000CFAフラン)で餌づけされている。訪問料大人1人1500CFAフラン。バー、レストラン、土産物店もある。

http://www.culture.gov.bf/Site_Ministere/textes/magazine/reportages/reportages_bazoule.htm

・Laongo(ラオンゴ)彫刻の森

ワガドゥグから東方Fada N'Grouma(ファダ・ングルマ)方面へ31km、Boudtenga(ブテンガ、丘を上った地点)を左折して数km北上すると、Laongo に自然の岩を彫ってできた彫刻群が見られる。世界中の芸術家によって約100点の彫刻が花崗岩に掘られている。1989年に日本人彫刻家が初めて作品を制作したといわれている。売店はない。警備をしている村人にチップを払う。フランス語の簡単なガイドを頼むことができる。現在、公園を整備中。

・Musée de Manéga(ミュゼ・ドゥ・マネガ／マネガ博物館)

ワガドゥグから北方Kongoussi(コングシ)方面へ約50km、Manéga に私立博物館がある。フランス語のガイドがつく。館内冷房はない。売店あり。アクセス道路は未舗装で状態は悪い。

・Musée de la Musique de Ouagadougou (ミュゼ・ドゥ・ラ・ミュージク・ドゥ・ワガドゥグ／ワガドゥグ音楽博物館)

ワガドゥグOubritenga通り、リセ・フィリブ・ジンダ・カボレの向かい(入館料大人1000CFAフラン)。

・Le Ranch de Nazenga(ル・ランチ・ドゥ・ナゼンガ)

動物公園。ワガドゥグから南方のPô(ポー)を經由して西へ向かう。公園入口の管理事務所で入園料を払う(1人3500CFAフラン)。象などが棲息する。

宿泊施設(バンガロー)、レストラン、土産物店がある。

<泊まりがけ>

・Bobo-Dioulasso(ボボ・デュラッソ)

首都ワガドゥグから西方約350km、ブルキナファソ第2の都市である。見どころはバンコ(日干しれんが)で作った白いモスク、旧市街地 Quartier Touristique Kibidoué(カルチエ・トゥーリスティック・キビドゥエ)など。

・Banfora(バンフォラ)

近くにこの国では珍しい滝がある。Bobo-Dioulasso(ボボ・デュラッソ)から日帰りできる。

・Arly(アルリ)

自然動物公園。

・Pama(パマ)

自然動物公園。

18-3 旅行代理店

主な旅行代理店は以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。

 Yellow Page

・Sahel Voyages Excursions(サエル・ボウィアジュ・エクスキュルスイオン)

・AAT(Agence Africaine De Tourisme)

・Kénédia Travel(ケネディア・トラベル)

・Agence de Tourism(アジャンス・ドゥ・ツーリズム)

・Afrique Voyage(アフリック・ボウィアジュ)

・Inter Voyages(アンテール・ボウィアジュ)

航空券の予約は以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。

 Yellow Page

・Elite Voyages

・Satguru Travel et tours service

18-4 イベント

<FESPACO>

1969年から、フェスパコ映画祭(FESPACO: Le Festival Panafricain du Cinema et de la Television de Ouagadougou ワガドゥグ全アフリカ映画祭)が、2年に一度ワガドゥグで開催されている。当初は、西アフリカの映画だけが上映されていたが、その後、アフリカ全土、そして世界各地からも作品が寄せられようになった。

<SIAO>

国際工芸見本市(SIAO)。2年に一度ワガドゥグで開催されるアフリカ最大級の国際工芸見本市である。約30ヶ国のアフリカ諸国、フランス、中国、台湾、フィリピン、キューバなどが参加して開催され、フェスパコ映画祭と並んでブルキナファソのもっとも有名なイベントに挙げられる。

入場者は約50万人、1,500人のアーティスト、300名の報道陣、200名のバイヤ

一が参加して盛大に繰り広げられる。

<FETE CULTURE A BOBO>

年一度開催される。

<FESTIMA>

デドゥグにて開催。偶数年2～3月 マスクのフェスティバル 西アフリカ諸国のマスクを見ることができる。

<SNC>

ボボ・デュラツにて開催。偶数年 3～4月 ダンスや音楽など文化紹介

<TOUR DE FASO>

全国。毎年 10 月開催。ブルキナファソ版ツールドフランス。

<NAK>

クドゥグにて毎年 11 月開催。伝統音楽と現代音楽の音楽祭。

19. 私財の輸送、 引き取り、購入



19-1 家財道具

(1) 輸送会社

クロネコヤマトを利用して日本からブルキナファソへ荷物を輸送した例がある。

また、日本の輸送代理店に依頼し、コンテナをガーナのTema Portまで船で送り、現地の輸送代理店に依頼しワガドゥグまで輸送してもらうこともできる。詳細はワガドゥグのTemaPortAgenceのオフィスにて聞くことができる。

(2) 輸入手続き

パスポートコピー、Invoice、B/Lなどの書類が必要である。輸入手続きは個人でもできるが、代理会社に依頼したほうがよい。

留意事項は以下のとおり。

- ・日本の輸送会社からの書類到着は遅くなるので、催促してFAX送信してもらう。

- ・荷物到着の案内は郵送されてくるが、ワガドゥグ市内の郵便事情は悪いので、ときどき空港の窓口で機材の到着を確認する。

- ・1回目の輸入には税関での登録が必要である。Hôtel Azalai Indépendance 近く、Boulevard de Révolution (レボリューション) の税関総局 Direction Générale des Douanesに本人がパスポートを持参する。

※代理店に頼む場合、同手続きに関してもフォローしてもらえる。

主な輸入代理店は以下の通り。



・SOTRAF

・TGL

(3) 輸入貨物の受け取り港

クーリエの航空便はワガドゥグ国際空港のAir Franceのcargo(カルゴ)事務所に、一般小荷物は郵便局本局裏側のColis Poste(Rue 3.52)に届く。

19-2 自動車

(1) 一般状況

ブルキナファソで自動車を購入する場合、車両価格・関税とも非常に高い。中古車は整備の状態が悪い。郊外に出る機会が多いなら、四輪駆動車が必要になる。小型バイクは入手しやすく日本製は新車130万CFAフランから、中国・インドネシア製は40万CFAフランから。

運転時は、免許証、certificat de visite technique(セルティフィカ・ドゥ・ビズィットゥ・テクニク、車検に相当)、carte jaune(カルト・ジョーン)、police d'assurances(保険証)、Carte de mise en circulation(通行許可書)を携帯する。

(2) 輸入手続き

新車購入の場合は、通常、代理店が必要書類を準備する。中古車を個人から購入する場合、輸入時の書類を引き継ぎ、名義を変更する。

(3) 現地での購入

「(2)輸入手続き」を参照。

(4) 自動車登録

登録は代理店が代行する。小型・中型バイクの登録料は3万2000CFAフラン。自動車の登録料は車種にもよるが7万CFAフラン程度である。車検は毎年、空港裏にある車両管理センターCCVA(Centre de Controle de Vehicule Automobiles)で受ける(8000CFAフラン)。

(5) 免許証取得

日本で発行する国際免許証はブルキナファソ国内でも使用可能である。

1年以上の長期滞在で国際免許証の有効期限が切れる場合は、日本において国際免許証の代理取得をしてもらい、それを郵送等で受け取って国際免許を更新する。

長期滞在者でブルキナファソの運転免許証を取得した例として、隣国(マリ、ニジェール)の免許証から変更した人や、新たに現地で運転免許証を取得した人がいる。新たに取得する場合は、現地自動車学校で法規講習を受講してから、運輸局の試験、実技試験を受けることになる。手続きなどは自動車学校が実施する。受講費は17万5000CFAフランである。

(6) 保険、税金

以下の保険会社がある(詳細はイエローページを参照)。保険の種類はオールリスクである。



- ・Sonar(ソナール)
- ・UAB(ユーアーベー)
- ・Allianz(アリアンズ)

(7) 駐車

自宅のガレージに駐車し、ガードマンに警備してもらうことになる。パーキング

(ガードマン付)もあるが夜間少人数で警備するため泥棒の被害が発生することもある。

20. 地方都市



第2の都市ボボ・デュラツソは、首都から西南354kmの地点にある。国道1号線を複数の高速バス会社がバスを運行しており、所要時間は4時間半～5時間。気候は、首都よりも雨量が多く、涼しく過ごしやすい。観光地としてヨーロッパから訪問する外国人も多い。現地語はジュラ語である。野菜、果物が豊富で、首都ほど交通量も多くなき住民も少ないので、生活はしやすい。

Part 3 イエローページ

*特に記載のない限り、JICA調整員事務所のあるワガドゥグの情報を中心にしています。

1. JICAブルキナファソ事務所

所在地	Cité SOCOGIB(HLM),Petit Paris(Secteur 8),Entre l' Avenue du Mogho et la Rue Gandin,Derrière le Service du Contrôle de la migration. Ouagadougou. Burkina Faso
郵便物宛先	01 B.P. 1484, Ouagadougou, Burkina Faso
TEL/FAX	TEL:+226-50-34-65-21~24 FAX:+226-50-34-65-20
URL/E-mail	URL: http://www.iica.go.jp/burkinafaso/index.html E-mail: bf_oso_rep@iica.go.jp

2. 日本大使館(2009年開館)

郵便物宛先	01 B.P. 5560, Ouagadougou 01, Burkina Faso
TEL/FAX	TEL:+226-5037-6506 / FAX:+226-5037-6581

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL:+226-5037-6506 / FAX:+226-5037-6581
警察	TEL:17
消防、救急	TEL:18
憲兵隊	TEL:50-30-62-71(ワガドゥグ)、80-00-11-45(緊急時)
救急車	TEL:50-30-69-47
救急車 (プライベートクリニック)	TEL:70-20-56-06(Dr. Ativon 個人携帯)
Numero vert (強盗、 犯罪の際の通報)	TEL:1010(24時間対応) 番号案内:120

4. 宿泊

*宿泊料金は税・サービス込みの1泊料金。価格は変動する可能性があるのでフロントで確認すること。

<中心部のホテル>

■Azalai Hôtel Indépendance (3つ星)

Avenue de la Résistance du 17 mai
TEL:50-30-60-60 FAX:50-30-67-67
URL: http://www.hotelinde.com / E-mail: hotelinde@cenatrin.bf / independance@azalaihotels.com
料金:5万5000~9万CFAフラン
使用できるカード:VISA & MASTERCARD

■Hôtel Silmande (3つ星)

Route de Kava 01 BP 4733 Ouagadougou 01
TEL:50-35-60-05, 50-35-60-54, FAX:50-35-60-54
URL: www.hotel-silmande.colm / Email: contact@hotel-silmande.com
料金:5万8000CFAフラン~
使用できるカード:VISA

■Faso Hôtel (3つ星)

Rue Président Seve ZERBO / à coté de la Banque Mondiale
TEL:50-33-07-89 / 50-33-07-90 / Fax: 50 33 07 88
URL: www.fasohotel.bf / Email: info@fasohotel.bf
料金:5万CFAフラン~
使用できるカード: VISA & MASTERCARD

■Hôtel Koulouba

844 Av. du Président Sangoulé Lamizana / 01 BP 88 Ouaga 01
TEL:50 30 40 44, 50 31 82 41 / Fax: 50 31 82 41
URL: www.hotel-koulouba.com / info@hotel-koulouba.com
料金:2万2000~3万2000CFAフラン
使用できるカード: VISA

■Karité Bleu

Ouagadougou, 214, Boulevard de L'Onatel, Zone du Bois
TEL:50 36 90 46
URL: www.karite.com / Email: karite.bleu@yahoo.fr
料金:2万6000~3万CFAフラン
使用できるカード:VISA, Euro – FFCA – Chèque

■Résidence du Centre

Rue de l'UNICEF, situé entre le Bâtiment de la SNTB et celui du PNUD
TEL:78 95 30 19, 76 62 01 09

URL: residenceducentre@yahoo.fr

料金: 1 万 5000~6 万 CFA フラン

使用できるカード: VISA

<Ouaga2000 エリア>

■Palace Hôtel

Avenue France Afrique 01BP567 Ouaga 01

TEL: 50 37 50 60 / Fax: 50 33 23 44

URL: [Email hotel.palaceouaga@gmail.com](mailto:hotel.palaceouaga@gmail.com)

料金: 6 万 5000~24 万 5000CFA フラン

使用できるカード: VISA & MASTERCARD

■Hôtel Laico Ouaga 2000

Avenue Pascal Zaaré 01 BP 1603 Ouagadougou 01 – Burkina Faso

TEL: 50 49 98 00 Fax: 50 49 98 02

URL: www.laicohotels.com / Email: reservations@laico-ouaga.com

料金: 8 万 0000CFA フラン~

使用できるカード: Visa - Mastercard

■Joly Hôtel

02 BP 6149 Ouagadougou 02 – (Ouaga 2000)

TEL: 50 37 62 57 Fax: 50 37 62 59

URL: www.jolyhotel.bf / Email: iolyhotel.ouaga2000@fasonet.bf

料金: 4 万 3540 CFA フラン~

使用できるカード: VISA

5.不動産会社

■Transactions Immobilières Faso

TEL: 78-81-26-24 (携帯)

不動産会社といっても、個人が携帯電話で依頼に応じて物件を探す、という仲介人にすぎず(仲介人の個人名は Arsene)、日本でイメージする不動産会社とは違う。物件が見つかった場合でも、客が車を出し、仲介人を乗せて案内してもらうことになる。登録料として 5000CFA フランを払い、物件の紹介を受ける。紹介物件のなかから賃貸を決めた場合、1 カ月分の家賃の 50%を礼金として支払う。

気に入った物件に出会うまで何件でも物件の紹介を要求することができる。

■Kabore Jean Baptiste

TEL: 70-53-53-53, 70-34-27-27 (携帯)

不動産会社といっても、個人が携帯電話で依頼に応じて物件を探す、という仲介人にすぎず(仲介人の個人名は Kabore)、日本でイメージする不動産会社とは違う。物件が見つかった場合でも、客が車を出し、仲介人を乗せて案内してもらうことになる。登録料として 5000CFA フランを払い、物件の紹介を受ける。紹介物件のなかから賃貸を決めた場合、1 カ月分の家賃の 50%を礼金として支払う。

気に入った物件に出会うまで何件でも物件の紹介を要求することができる。

6.美容院

■Coiffe Style (コワフ・スタイル)

TEL: 50-31-03-00

■Gaël Emmanuel

Azalai Hôtel Indépendance 内

TEL: 50-31-32-98

料金: カット(女性) 5000CFA フラン~

店長はフランス人女性。男女とも利用できる。店の雰囲気はよい。在住フランス人がよく利用している。

■Hair et Beauty Coiffure

TEL: 50-33-38-62

■Hudson and Boissard

TEL: 50-36-34-59

■Institut de Beauté FAB

TEL: 50-30-19-29

■Coiffure Design

TEL: 50-30-84-39

■Sitness

Laico Ouaga2000 Hotel 敷地内

TEL: 50-49-98-00

フェイシャルマッサージ、全身マッサージ(15000F~)ができる。また、館内に美容院も併設されマニキュア、ペディキュアも施術できる。

営業時間: 月~土曜日 7:00~22:00、日曜日 7:00~20:00 事前予約が必要

7. レストラン

<アジア料理>

■Restaurant de Chine (中華)

Avenue H. Boumediene, centre ville
TEL: 50-31-18-60

■Kim Son (ベトナム) ※2011年10月現在閉店中。

1910, Avenue Kwame N'Krumah 空港近く
TEL: 50-30-88-31

■L'Orient (中華)

Zone du Bois
TEL: 50-36-15-09

■Soura (韓国)

Petit Paris, JICA 事務所近く
TEL: 50-36-15-09

■Dragon Hotel (中華)

Tanghin Secteur 24, シルマンデホテル裏

<フランス料理>

■Le Vert Galant

Ouaga 2000, Av. Léopold Sedar Senghor
TEL: 50-30-69-80

■Le Coq Bleu

Avenue Kwame N'Krumah
TEL: 50-30-01-93

■L'Olivier Nouveau

Quartier Koulouba, Rue Maurice Yameogo
TEL: 50-33-58-71

■Princesse Yenenga

Av. de la Grande Chancellerie, RTB 裏
TEL: 50-30-63-16 / 70-21-63-15

■Le Bistrot Lvonnais

Quartier Koulouba, RTB 近く
TEL: 50-33-01-65

<イタリア料理>

■Pizzeria Terra Nostra

Quartier Koulouba, Avenue J.F. Kennedy, Porte 403
TEL: 50-33-03-06

■Le Verdovant

Avenue Dimbolobso-Sect. 3
TEL: 50-31-54-07

■Paradisio

Quartier Zogona (Zone du Bois), International School Ouagadougou 近く
TEL: 50-36-81-12

<アフリカ料理>

■L'Akwaba

Avenue Kwamé N'Krumah
TEL: 50-31-23-76

■Espace Gondwana

Rue Dr Balla Moussa Traore, Zone du Bois
TEL: 50-36-11-24 / 76-68-12-03

■La Forêt

En face de groupe Hage, BCEAO 裏
TEL: 50-30-72-96

■ONU

Quartier Koulouba, Station TOTAL 隣

■L'Eau Vive

Rue de l'Hôtel de Ville
TEL: 50-30-63-03

■L'Aboussouan

Quartier Gounghin, Av. Simon Compaoré
TEL: 50-34-27-20 / 70-24-85-35

<その他>

■Le Tam-Tam(ドイツ風料理)

Avenue Kadiogo, JICA 事務所近く
TEL: 50-30-28-04

■Diwan Al Mokhtar (レバノン料理)

Quartier Koulouba
TEL: 50-33-57-75

■Rang de l'Inde (インド料理)

Avenue Kwame N'Krumah
TEL: 50-33-08-49

<カフェ・軽食>

■Patisserie de Koulouba

TEL: 50-30-77-17

■Café de Vienne

Quartier Koulouba, Av. Kennedy
TEL: 50-39-82-45 /76-56-68-94

■Chez Simon

Avenue Kwame N'Krumah, Hotel Palm beach 隣
TEL: 50-33-21-46

■Le Cappucino

Avenue Kwame N'Krumah

<ワインバー・バー>

■Paradis de Meilleurs Vins

Avenue Kwame N'Krumah, 空港近く
TEL: 50-30-63-64 /78-04-08-24

■La cave du petit paris

Petit Paris, JICA 事務所近く
TEL: 50-34-02-34

■Le Show Biz

Avenue Kwame N'Krumah

■Le Moulin Rouge

Avenue Kwame N'Krumah
TEL: 50-30-46-53

8. 食材店

<スーパーマーケットなど>

■Marina Market(マリナ・マーケット)

Grande Mosquée(グランド・モスケ)東向かい、Avenue Yennenga(アヴェニュー・イエネンガ)沿い
TEL: 50-31-09-65 TEL: 50-34-09-96 (Gounghin)

営業時間: (月~土)8:00~21:00 (日祝)9:00~20:00

首都ワガドゥグで最大のスーパーマーケット。Centre Ville 以外に、Gounghin(Kadiogo 通り沿い)、Patte d'Oie (Rond point Patte d'Oie を SIAO 方面右手)、Ouaga2000(Hotel Laico 隣)にも店舗あり。

■Scimas/Self Service(シーマス/セルフ・セルビス)

中央市場(Marché Central/マルシェ・サントラル)東、Avenue Yennenga
TEL: 50-30-62-80

営業時間: (月~土)8:00~13:00、15:30~20:00 (日)8:30~13:00

輸入食品は充実している。

■Cobodim(コボディン)

Maison du Peuple(メゾン・デュ・ププル)向かい、Avenue Nelson Mandela(ネルソン・マンデラ大通り)
TEL: 50-30-63-50

■CACI(カスイ)

中央市場東、Avenue Yennenga
TEL: 50-30-62-87~89

営業時間: (月~土)8:15~12:30、15:30~19:00

ワインは豊富。食器・家電・機材・文房具も販売している。手荷物はロッカーに入れる。

■SONACOF(ソナコフ)

ニジュールへ向かう幹線道路 Route de Fada(ルートウ・ドゥ・ファダ)沿い、皮革製造会社 SBMC 近く
TEL: 50-36-40-65

■Mini Alimentation(ミニ・アリマンタスイオン)

Rue Raoul Follereau(ラウル・フォルロー)、Hôtel Indépendance(ホテル・アンデパンダンス)近く
TEL: 50-30-71-43

スーパーとしては小規模だが、冷凍魚介類は比較的豊富にある。

■BINGO MARKET(ビンゴマーケット)

Avenue de la PAIX, Quartier KouloubaSecteur4

TEL:50-50-55-55

営業時間:(年中無休)7:30~21:30

ワインの品揃えは限られているが、それ以外の食料品・日用品は充実しており他店より若干割安。駐車場広い。

■SUPER RAMON(スーパーラモン)

Petit Paris, Gounghin, JICA 事務所近く

TEL:50-34-61-57

営業時間:(月~土)8:00~22:00 (日)16:00~22:00

接客が良い。

<その他の食品店>

■Palais de Viande(パレ・ドゥ・ヴィアンドゥ)

保存林 Bois de Boulogne(ボワ・ドゥ・ブローニュ)向かい、Route de Fada(ファダ)と Rue(リユー:通り)13.03 の角

ベルギー系経営の肉店。肉の種類は豊富で鮮度もよい。総菜その他の食品もある。

TEL:50-36-09-73

■Sipal(スイパル)

映画館 Ciné Oubri(シネ・ウブリ)近く、Rue Agostino Neto(アゴスティノ・ネト)と Avenue de Loudun(ルダン)の角

TEL:50-31-40-67

肉店。肉の種類が豊富で鮮度もよい。サラダ、ソーセージ、パテなどもある。飲料を扱う Cave(カーブ)でビール、炭酸飲料、ミネラルウォーター(国産の Lafi ラフィ)をケース単位で買える。国産のミネラルウォーターは1ダース約5000CFAフラン。

■MAREE FRAICHE(マレフレッシュ)

Cité an II, 空港から Av. Bassawarga を Ouaga2000 方面に進み、保険会社 Allianz を左折して未舗装路を500メートルほど進んだ右手。

フランス人経営の魚屋。ほとんどは冷凍だが保存状態良好。サーモンやマグロなどもたまに入荷。衛生的。

TEL:50-38-81-38 / 78-83-98-83

<マルシェ(市場)>

■Marché Gounghin(マルシェ・グンゲン)

グンゲン市場。食料品、土産物、日用雑貨など。売り子の呼び込みがにぎやか。

■Marché Sankariare(マルシェ・サンカリアル)

駅の北側。

主要産地 Bobo-Dioulasso(ボボ・デュラソ)近郊の野菜・果物の卸売市場。新鮮で安価。

■Rue de Palestine(パレスティヌ)の市場

銀行 BICIA-B(ビスィア・ペー)と喫茶/菓子店 P 液 isserie de Koulouba(パティスリー・ドゥ・クルバ)の間。

野菜が豊富。

■Paspanqa(パspanqa)地区、Avenue de la Liberté(リベルテ)沿道の市場

憲兵隊(Gendarmerie/ジャンダルムリー)と電気公社 SONABEL(ソナベル)の間。

<宅配>

■Poissonnerie: BESSIN(ボワッソヌリー(=魚屋)・ベサン)

TEL:50-36-39-81

魚介類。週1回、注文票に従ってコートジボワールで買い付け、冷蔵保存して配達する。

9. 食器・調理器具

■CACI

「8.食料店」の同店を参照。

■CICA/Electro Hall

中央市場西、Avenue P. Lumumba(リュマンバ)。

TEL:50-30-61-59~63

電化製品。

■SBE (Société Burkinabé d'Équipement:ソスイエテ・ブルキナベ・デキップモン)

Air France(エール・フランス)事務所の隣、Avenue Nelson Mandela(ネルソン・マンデラ)

冷蔵庫、ガス台、水回り・建築資材。

電化製品

■ORCA

「12.日用品・雑貨」の同店を参照

■HOME MARKET

Avenue Kwame N'Krumah, Station Total 向かい

冷蔵庫、ガス台、食器、家具。シンプルな品ぞろえ。

10. 家電

■Merveille

Avenue Yennenga

TEL : 50-30-88-00 FAX : 50-30-88-82

E-mail : Merveille@fasonet.bf

ソニーやシャープなどの日本メーカーの中近東向け製品が揃っている。交渉すれば1割程度の値引きあり。

11. 家具

■FTF (Interni Show-Room)

Avenue Kwame N'Krumah

TEL : 50-33-01-22 FAX : 50-35-91-40

E-mail : ferimex@cenatrin.bf

12. 日用品・雑貨

■ORCA

Avenue Kwame N'Krumah et Avenue H. Boumedienne

TEL : 50-33-01-22

シーツから食器、台所用品、掃除用具、バスルーム用品、インテリア用品等の日用品がほとんど揃っている。価格も妥当。

■Livre et Loisirs

TEL : 50-30-02-96

文具、画材、本などが揃う。子ども向けの本や雑貨も充実している。

■Diacfa papeterie

TEL : 50-30-65-47

13. 工具・資材

■ORCA

「12.日用品・雑貨」の同店を参照。

■CACI

「8.食材店」の同店を参照。

■C.B.B

TEL : 50-34-26-88/50-31-61-77/50-30-53-34

14. 銀行

■BIB (Banque Internationale du Burkina / ベー・イー・ベー) 本店

Place des Nations Unies 北、Avenue Dimdoloobom (ダンドロソン)。

TEL : 50-30-00-00 FAX : 50-31-00-94

E-mail : bibouaqa@fasobet.bf

営業時間(換金) : (月～金) 7:15～11:00、15:15～16:30

ブルキナファソでは最大手で、東京三菱 UFJ 銀行から送金できる。American Express の TC のみ交換可能で、1.8%の手数料がかかる。支店が Avenue de la Résistance (レジスタンス通り)、国連ビルの近くにあり、本店より空いている。

■BICIA-B (Banque Internationale pour le Commerce, l'Industrie et l'Agriculture du Burkina / ビスィア・ベー) 本店

Avenue Kwame N'Krumah

TEL : 50-32-56-00/57-00 FAX : 50-31-19-55

E-mail : biciadg@fasonet.bf

営業時間(換金) : (月～金) 7:15～11:15、15:15～17:30、情報窓口(残高照会など) 7:15～11:00、15:15～16:30

American Express の TC のみ交換でき、TC 交換に手数料を取る。手数料は一定の率でなく TC 交換額により異なる。支店は Avenue de la Résistance、Hôtel Indépendance。フランス銀行 BNP (Banque Nationale de Paris / ベー・エヌ・ベー) の系列会社で、BNP 東京支店から送金できる。キャッシュカードのサービスあり、VISA カードでのキャッシングが可能。新生銀行のキャッシュカードが ATM で利用可能。

■BICIA-B (Banque Internationale pour le Commerce, l'Industrie et l'Agriculture du Burkina / ビスィア・ベー) 本店

Avenue Kwame N'Krumah

TEL : 50-32-56-00/57-00 FAX : 50-31-19-55

E-mail : biciadg@fasonet.bf

営業時間(換金) : (月～金) 7:15～11:15、15:15～17:30、情報窓口(残高照会など) 7:15～11:00、15:15

American Express の TC のみ交換でき、TC 交換に手数料を取る。手数料は一定の率でなく TC 交換額により異なる。支店は Avenue de la Résistance、Hôtel Indépendance。フランス銀行 BNP (Banque Nationale de Paris / ベー・エヌ・ペー) の系列会社で、BNP 東京支店から送金できる。キャッシュカードのサービスあり、VISA カードでのキャッシングが可能。新生銀行のキャッシュカードが ATM で利用可能。

■ Ecobank (エコバンク)

633. Rue Maurice Bishop (BICIA-B 支店より南、空港寄り)

TEL: 50-31-89-75/76

E-mail: ecobank@ecobank.bf

営業時間: 平日は昼休みなし。土曜午前も営業。

交換率は悪い。American Express に加え、Citibank の TC 交換も可能。

■ Bank of Africa (バンク・オブ・アフリカ)

770. Avenue de la Résistance, zain 近く

TEL: 50-30-88-70~73 FAX: 50-30-88-74

E-mail: boadq@fasonet.bf

営業時間: 7:14~11:45、15:15~17:00 土曜午前も営業。

15. レンタカー会社

■ AVIS (アヴィス)

Avenue Lumumba (リュムンバ)、中央市場南並び、CICA (シカ) 内

TEL: 50-33-21-59、50-30-61-59~63 FAX: 50-30-61-64

E-mail: avisbf@cfao.fr

下記 2 社に比べて格式は高いが、料金設定条件が細かく、金額も高い。その割に、運転手の質等、必ずしもパフォーマンスが高いわけでもない。

■ Burkina Auto (ブルキナ・オート)

Avenue Houarie Boumediene 11 BP 1175 Ouaga 11

TEL: Port: 70 00 40 75/70 43 51 68

■ Exel Location (エクセル・ロカシオン)

01 BP 4262 Ouaga 01

TEL: 50 47 46 40/70 13 51 85

E-mail: youl1b@yahoo.fr

16. 自動車代理店・修理工場

■ CFAO (セファオ)

CFAO MOTORS BURKINA (siège social) 2280 Boulevard Tansoba Kiéma

TEL: 50 49 88 30 Fax: +226 50 37 17 65

Peugeot (プジョー)、トヨタ、ヤマハ、スズキ代理店。

■ SAEB (サエブ)

01 BP 23 Ouagadougou

■ Diafa Auto (ディアクファ・オート)

中央市場北。代理店は Avenue Nelson Mandela (ネルソン・マンデラ)、隣接の整備工場は Rue Urbain YAMEOGO (ユルバン・ヤメオゴ) 沿い

三菱などの代理店。

17. 携帯電話会社

■ TELMOB

Avenue Nelson Mandela

TEL: 50-30-30-30 FAX: 50-33-60-08

URL: www.telmob.bf

公営企業であるため、窓口のサービスなどが非常に悪かったが、民間他社のサービスに押される形で改善の兆しが見えている。ブルキナファソで最初に携帯電話事業を始めたため、インフラも整っており、ほぼ主要な地方都市と連絡ができる。プリペイド方式ではなく、毎月使用した通話料を支払う方法の携帯の新規登録加入は、非常に待たされる。加入時の料金は保証金も含め 31 万 5000CFA フランである。USB スティック形式のインターネット加入手続きも可能で、初期費用は接続速度により 10~15 万フラン程度。クワメンクルマ通りにも、店舗がある。

■ Airtel (Zain)

No 1833 Rue 8-12 01 BP 6622 Ouagadougou 01

TEL: 50-33-14-00~02 FAX: 50-33-14-06

E-mail: celtel@cenatrin.bf

プリペイド方式での登録の場合、身分証明書が必要なこともある。初期費用は、本体、SIM (IC チップ) 込みで、機種により 1 万~20 万 CFA フラン程度。

携帯本体の持ち込みの場合、1 万~1 万 5000CFA フラン (500CFA フランの通話料込み)。店頭でのサービスは非常によいため、手続きは簡単で短時間で済む。通話カードは 500CFA フラン、1000CFA フラン、2000CFA フ

ラン、2500CFAフラン、5000CFAフラン、1万CFAフラン、3万CFAフランの4種類で、ガソリンスタンドなどでも入手できる。現在、電話の加入権は最後のカードを登録後90日間有効、また、プリペイドの回数も5000CFAフランの期限内(30日間)に加算していくことで加入権も自動的に加算されていくため、1カ月程度の休暇を取っても支障はない。2500CFAフランのカードの期限は2週間である。接続可能地域は、ワガドゥグからボボ・デュラツォ幹線道上(Koudougou, Boromo, Houde)、ワガから Ziniare までの幹線道上、ワガから Kombissiri、Toesse、Manga、Garango、Tenkodogo、Bittou、Cinkannse、Koupela、Pouyterga、Zorgho を結ぶ幹線路上である。地方都市の Banfora、Ouahigouya、Gaoua、Dori、Fada N'gourma、Yako、Kaya、Po の半径 35km 以内は接続可能。

■TELECEL

Avenue Nelson Mandela (TELMOB の向かい)

TEL: 50-33-35-56、80-80-80、81-81-81、87-77-77/78-78 FAX: 50-33-35-58

CELTEL の利用者数が急激に伸び、次に TELMOB が追いかけており、TELECELE は販売数においては後れを取っている。3社のなかでは携帯電話本体、SIM、プリペイドカードのセットパックの値段は一番高く、キャンペーン中も、価格競争よりも購入すると抽選で単車など的高額景品が当たることで顧客を増やそうとしている。CELTEL、TELMOB のカバーしていない地方都市で接続可能な場合もある。

18. インターネット・プロバイダー

■Fasonet (ファソネット)

TEL: 50-33-40-01 FAX: 50-31-03-31

URL: <http://www.fasonet.bf>

使用料金: 時間無制限: 1万 2712CFAフラン ~ 15万 3900CFAフラン。この他に入会時の料金と電話代、モデム料金が加算される。契約方法は、所定の用紙に必要事項を記入し、ONATEL 本局で申し込む。ただし、FAX機と同様のモジュラーが必要(市場で購入可)。アカウント取得には本人名義の電話番号もしくは電話番号所有者の使用許可証が必要。アナログ通信が主流で回線速度は 128kbps ~ 2Mbps。接続状況が悪いこともある。

■CENATRIN (Centre National de Traitement de l'Information / セナトリン)

01 B.P.1132 Ouagadougou 01

TEL: 50-30-66-62 FAX: 50-30-86-73

URL: <http://www.cenatrin.bf>、<http://www.burkinaonline.bf> E-mail: info@cenatrin.bf

料金: 時間無制限で入会料なし、1カ月 1万 4750CFAフラン。

電話番号がない場合、CENATRIN でインターネットへの接続が可能。手続きは所定の用紙に記入するだけでよい。支払いまで含めて 15分で接続可能。ログイン名とメールアカウントとは同じものを使用。各パスワードも共通のものを指定する。接続がうまくいかなかった場合コンピューターを持ち込めば設定してくれるとのこと。

19. 国際宅配サービス

■DHL (デー・アッシュ・エル)

Avenue de la Résistance du 17 mai, Hôtel Indépendance 南、空港寄り

TEL: 50-33-51-71、50-31-19-47 FAX: 50-31-05-90

日本までの料金(目安): 4万 4460CFAフラン(500gまで)、500g超過ごとに 1万 2600CFAフランが加算。

主要ホテルからも発送可能。

■Chronopost (クロノポスト)

Avenue de la Résistance du 17 mai 沿い、空港脇、Avenue de Loudun (ルデュン)の南端

TEL: 50-30-83-30 FAX: 50-31-35-49

E-mail: emsbepi@fasonet.bf

日本までの料金(目安): クーポンを利用すると、500gまで 3万 5240CFAフラン、500gごとに 1万 4000CFAフランを加算。荷物については 50kg ~ 200kgまで 1万 184CFAフラン/kg + 9200CFAフラン。

信頼性、迅速性は DHL より少し劣るが、コートジボワールなど近隣諸国あてなら割安。

20. コンピューター販売・修理

■CFAO Technologie (セーファーオー・テクノロジー)

Avenue H. Boumedienne

TEL: 50-31-11-05 FAX: 50-31-11-81

E-mail: liptinfor@liptinfor.bf

IBM、DELL、Sun など。

■Graphi Service (グラフィ・セルヴィス)

Avenue Kwame N'krumah

TEL: 50-31-12-34 FAX: 50-31-12-35

E-mail: graphi@fasonet.bf

Macintosh、Canon など。

■i Stov BF

Avenue Kwame N'krumah

TEL: 50-48-36-62、78-11-11-23 (Mr KOUDA Adama、ジェネラルマネージャー)

Macintosh 製品代理店

21. 輸送会社

■AGS(アー・ジェー・エス)

Zone du Bois(ゾーン・デュ・ボワ)地区、赤十字 Crois Rouge(クロワ・ルーージュ)近く
 TEL:50-36-16-79 FAX:50-36-18-25

22. 教育機関

<外国人学校>

■Ecole Saint-Exupéry(エコール・サンテグジュペリ)

Boulevard de la Révolution(ブルヴァード・ドゥ・ラ・レボリュシオン)から FESPASCO(フェスパコ)事務所脇の道 Rue 4.23 を入る。

TEL:50-33-32-40

フランス系学校の小学部と幼稚園部。幼稚園 3 学年と小学部 5 学年があり、生徒数は全体で 440 人(1995/1996 年)。小学部の授業料は年間 104 万 7000CFA フラン(1999/2000 年)。幼稚園部は原則として 3 歳児から。授業料は年間 90 万 9000 CFA フラン(1999/2000 年)。

■Lycée Saint-Exupéry(リセ・サンテグジュペリ)

Rue J. Badoua(バドゥア)、ドイツ大使館並び

郵便あて先: 01 B.P 1478 Ouagadougou 01

TEL:50-31-27-63 FAX:50-31-01-43

フランス系学校の中高校部。年間授業料は中学部 123 万 9000CFA フラン、高校部 140 万 4000CFA フラン(1999/2000 年)。中学(4 年)と高校(3 年)で、生徒数は 347 人(1995/1996 年)。

■ISO(International School of Ouagadougou/イソ:インターナショナル・スクール・オブ・ワガドゥグ)

ZOGONA(ゾゴナ)地区、Rue 13.22

郵便宛先:01 B.P. 35 Ouagadougou 01

TEL:50-36-21-43 FAX:50-36-22-28

アメリカンスクール。幼稚園から高校まで合わせて生徒数は約 140 人。寄付金は一律 1000 米ドル。年間授業料:Grades 1-2:8500 米ドル、Grades 3-4:9125 米ドル、Grades 5-9:9450 米ドル、Grades 10-12:9800 米ドル。幼稚園は、原則として 3 歳児から。

寄付金は幼稚園のみ 1000 米ドル。年間授業料:Pre-School 3 and 4(3、4 歳):2850 米ドル、Kindergarden(幼稚園):7220 米ドル。

<幼稚園>

■Jardin d'Enfants Les Lutins(ジャルダン・ダンファン・レ・リュタン)

ZOGONA(ゾゴナ)地区、市場 Marché de Zoqona 近く、Rue 13.09

TEL:50-30-01-86

対象年齢:2 歳児以上。

■Ecole BAMBI(エコール・バンビ)

GOUNGHIN Sud(グンゲン・シュッドウ)=Secteur 8。

TEL:50-34-05-43

対象年齢:2 歳児以上。

保育料その他:授業料は月 4 万 CFA フラン。

23. 図書館

■Centre Culturel Français(サントル・キュルチュレル・フランセ:フランス文化センター)

Avenue Nelson Mandela(ネルソン・マンデラ)、Place de la Révolution(プラス・ドゥ・ラ・レヴォリュシオン)近く
 パスポートと証明写真 1 枚を持参すると会員証が発行され、貸し出しができる(1 冊 2 週間)。年間会員料は大人 7000CFA フラン、子供 1000CFA フラン。

24. スポーツ施設

<ゴルフ場>

■Club de Golf

Route de Pô(ルート・デ・ポー)沿い、ワガドゥグから約 15km

TEL:50-30-29-54/76-63-39-01 FAX:50-30-84-31

料金:グリーンフィー5000CFA フラン、キャディフィー1500CFA フラン、マットレンタル 1000CFA フラン、練習場
 ブルキナファソで唯一のゴルフ場。一応 18 ホールあるが、土や岩がむき出しになっており、プレーするには人工芝のマットが必要。マットはゴルフ場で中古もレンタル可能だが、国内では入手できないのであらかじめ持参するのが望ましい。

<プール/テニス/フィットネス>

■Hôtel Silmandé(ホテル・シルマンデ)

Route de Kava

TEL: 50-35-60-05 FAX: 50-35-60-54

URL: www.sofitel.com E-mail: hotelsilmande@fasonet.bf, silmande@cenatrin.bf

プール、テニスコート

■Azalai Hôtel Indépendance(ホテル・アンデパンダンス)

Avenue de la Résistance du 17 mai

TEL: 50-30-60-60~61 FAX: 50-30-67-67

URL: www.hotelinde.com E-mail: hotelinde@cenatrin.bf

プール、テニスコート

■ISO(インターナショナル・スクール)

ZOGONA(ゾゴナ)地区、Rue 13.22

TEL: 50-36-21-43 FAX: 50-36-22-28 プール

■Club SONABEL(クラブ・ソナベル)

Rue 12.83、Dapoya(ダボヤ)地区 プール

■Hotel Laico(ホテル・ライコ)

TEL: 50-33-04-78 プール、テニスコート、フィットネス

■The Rec Center(レックセンター)

TEL: 50-31-00-06 プール、テニスコート、フィットネス

■Club SYNO VIE

TEL: 50-47-09-70 フィットネス

■Super Gym Club

TEL: 50-31-02-10、78-00-90-30 フィットネス

<柔道>

■柔道連盟

TEL: 50-32-47-88~90、内線 405/407(スポーツレジャー省(Boulevard de la Révolution/レヴオリュスイオン北側合同庁舎): 事務局長 KÉRÉ Gourounga ケレ・グルンガ氏の勤務先)

柔道場は Camps Militaire(キャンプ・ミリテール)内、Place du 2 Octobre(プラス・デュ・ドゥ・ゾクトーブル)北向かいにある。

<乗馬>

■Club de l'Etrier Burkinabé

Route de Kava と Route de Fada の交差点付近

TEL: 50-30-01-65

■Club Polo à Nonvougo

Route de Pô ワガドゥグ南方 15km

■Cheval Mandingue

Route de Bobo

TEL: 50-43-60-76 FAX: 50-43-60-76

<体操>

■Super GYM Club

Rue Ur. YAMEOGO、中央市場東向かい、喫茶/レストラン Gourmandise 下

TEL: 50-31-02-10、78-00-90-30

■ABCS

Gounghin 地区の Petit Paris(プティ・パリ)

TEL: 50-30-36-68

■Centre Culturel Français

Avenue Nelson Mandela

TEL: 50-30-60-97

<フットボール>

■Football Amicale les Marquouillats

TEL: 50-36-30-02

<ラグビー>

■Rugby le Pilaou

TEL: 50-31-33-76

<ヨガ、ダンス>

■Centre Culturel Français

<体操>の同施設を参照。

<ベタンク>

■Pâtisserie-Koulouba

TEL: 50-30-77-17

<モトクロス>

■Club de Moto

ワガドゥグから南 15km、Route de Pô

25. 趣味

<写真>

■Lotte Photo Couleur(ロッテ・フォト・クレール)

Avenue Yennenga(イエネンガ)と Rue 4.36 の交差点

TEL: 50-30-88-57

韓国系経営の写真店。24 枚撮りネガフィルム現像・焼き付けで 4100CFA フラン。

■Africa Photo

Avenue Houari Boumedienne(ウアリ・ブウメディエンス)沿い Rue de la Mosquée(モスケ)と Rue de la Chance(チャンス)の間

TEL: 50-30-63-24

ポジフィルムの現像専門店。24 枚取り現像のみで 4850CFA フラン、スライド 150CFA フラン/unite、焼き付けは 9×13 版 500CFA フラン/unite、10×15 版 800CFA フラン/unite。月曜と木曜に受け付け。

■Photo Luxe

Av. de Loudun

TEL: 50-30-72-02

<ビデオデッキ販売>

■Merveille(メルベユ)

Avenue Yennenga

TEL: 50-30-88-00

ラジカセ、鍵盤楽器も販売。隣は修理店。

<園芸>

■CNSF

Kossodo, Route de Kava(ルートウ・ドウ・カヤ)

TEL: 50-35-80-13、50-35-61-11 FAX: 50-35-61-10

E-mail: cnsf@fasonet.bf

26. 語学学習施設

■Centre Culture Français Georges Melies(ジヨルジュメリーフランス文化センター)

Avenue Nelson Mandela

TEL: 50-30-60-97~98 FAX: 50-30-60-99

E-mail: ccf@fasonet.bf

フランス語講座は開催していない。

■Centre Culturel Américain(サントウル・キュルチュレル・アメリカン)

Avenue Nelson Mandela(ネルソン・マンデラ)と Rue de la Chance(チャンス)の角

TEL: 50-30-70-13、50-30-63-60(英語講座専用)

URL: <http://ouagadougou.usembassy.gov/wwwhmpf.html> E-mail: alcouaga@fasonet.bf

ビデオ貸し出し、映画上映も行う。

■Centre Culturel Arabe Lybien(サントウル・キュルチュレル・アラブ・リビアン)

Avenue Kwame N'Krumah.

TEL: 50-30-71-26、50-30-76-34

アラブ語講座、図書館、ビデオ、文化講座など。

27. 旅行代理店

■Sahel Voyages Excursions(サエル・ボワアジュ・エクスキュルスイオン)

TEL: 50-31-53-45 FAX: 50-31-26-53

よく利用されている。

■AAT(Agence Africaine De Tourisme)

Avenue de la Résistance du 17 mai

TEL: 50-33-14-44/45 FAX: 50-33-14-46

E-mail: aatourqa@fasonet.bf

ベナン、トーゴにも系列代理店がある。

■Kénédia Travel(ケネディア・トラベル)

TEL: 50-31-59-69 FAX: 50-31-59-70

国外旅行の対応可能。

- Agence de Tourism(アジャンス・ドゥ・ツーリズム)
Rue J. Badoua 沿い、フランス学校 Lycée St.-Exupéry 近く
TEL : 50-34-13-20
- Afrique Voyage(アフリック・ボワイアジュ)
TEL : 50-30-07-11 FAX : 50-30-07-62
- Inter Voyages(アンテール・ボワイアジュ)
TEL : 50-31-53-64 FAX : 50-33-72-11
- Elite voyages
TEL : 50-30-00-81/50-33-51-55
航空券の予約ができる。
- Satquru TRAVEL ET TOURS SERVICE
TEL : 50-30-16-62/85 FAX : 50-30-18-86
航空券の予約ができる。

28. 保険会社

- Sonar(ソナール)
284 avenue loudin 01 BP 426 Ouagadougou 01"
TEL : 50-49-69-87/88
E-mail : sonarvie@sonar.bf
- UAB (ユーアーベー)
Avenue Kwame N'krumah
TEL : 50-31-26-15
- ALLIANZ ASSURANCES(アリアンズ アシュランス)
99 Avenue de l'UEMOA 01 BP 381 Ouagadougou 01
TEL : 50 32 82 00 Fax : + 226 50 31 01 83

29. 輸入代理店

- SOTRAF
01 BP 5958 Ouagadougou 01
Tel: 70 23 79 32/78 32 32 34
- TGL
TEL : 70 30 89 25 / 78 88 07 77

30. 航空会社

- Air France
TEL : 50-30-63-65~67 FAX : 50-31-22-06
- Air France(空港付き事務所)
TEL : 50-31-22-81
- Air Burkina
TEL : 50-30-76-76/50-49-23-23
- Kenva Airways
TEL :
- Roval Air Maroc
TEL : 50-30-50-81 FAX : 50-30-60-34
- A-skv
TEL : 50-33-12-37
- Bruxelle Airline
TEL : 50-33-14-44 / 45

31. 布屋

- EURO TEX BURKINA
TEL : 50-33-51-34 FAX : 50-33-51-35
- AFRICA TEX
TEL : 50-30-70-08/50-31-01-56 FAX : 50-30-77-53